放送を視聴する

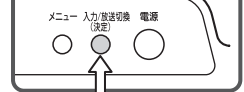
番組を選ぶ

番組の選択手順と操作のしかた

操作のしかた

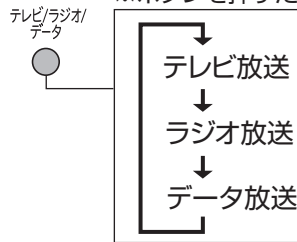
1 ネットワークを選ぶ

放送切換ボタンで、ネットワーク(放送)を選びます。

本体の天面操作部の「入力/放送切換」でも選べます。

2 メディアを選ぶ(デジタル放送の場合)

テレビ／ラジオ／データボタンで、メディアを選びます。

・メデイアとは、テレビ、ラジオなどの放送媒体を意味します。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

3 デジタル放送の場合は、電子番組表(EPG)を使って番組を選ぶこともできます

● 右記手順①～②の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表(EPG)の表示のしかた、機能、操作方法については、**92**～**96**ページをご覧ください。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

チャンネルボタン(数字ボタン)で選ぶ

● チャンネルボタンを押してください。
● チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
● 登録されているチャンネルは画面で確認できます。デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**86**ページ参照)

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

● 視聴したい番組が表示されるまで選局(∧順／∨逆)ボタンを押してください。
● 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

選局したチャンネルの画面表示例

● BSデジタル放送のテレビ放送「NHKBS1」を選んだとき

BSテレビ NHK BS1 1 NHK 101

おしらせ

・ラジオ放送は、BSデジタルでのみ放送されています(2006年3月現在)。
・デジタル放送はB-CASカード(**65**～**66**ページ)を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定(**67**～**73**ページ)を行うとご覧になれます。なお、お住まいの地域で地上デジタル放送開始前は設定しても受信できません。
・データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

その他の選局方法

お好み選局／登録画面を表示して選ぶ

- お好み選局／登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。（**140**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。）

1 ① **お好み選局/登録 を押して、お好み選局／登録画面を表示する**
② **視聴したいチャンネルが登録されているチャンネルボタン（1～12）を押す**
- 視聴したいチャンネルがダイレクトに選局できます。

CATVチャンネルを選ぶ

- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。
[例] C23を選ぶとき

1 **CATV を押す**

2 **数字ボタン 2 3 を押す**

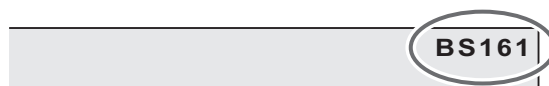
3桁入力で選ぶ（デジタル放送の場合）

- 視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
チャンネル番号表（**87**ページ）を参照してください。

1 **地上D BS CS のいずれかを押し、ネットワーク（放送）を選ぶ**

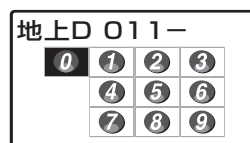
2 [例] BSデジタル放送の161チャンネル（BS-i）を選ぶとき

① **3桁入力 を押す**
- 画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② **数字ボタン 1 6 1 を押す**

- 間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

つぎの操作手順でも選局できます
① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換「地上D」「BS」「CS」ボタンでネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

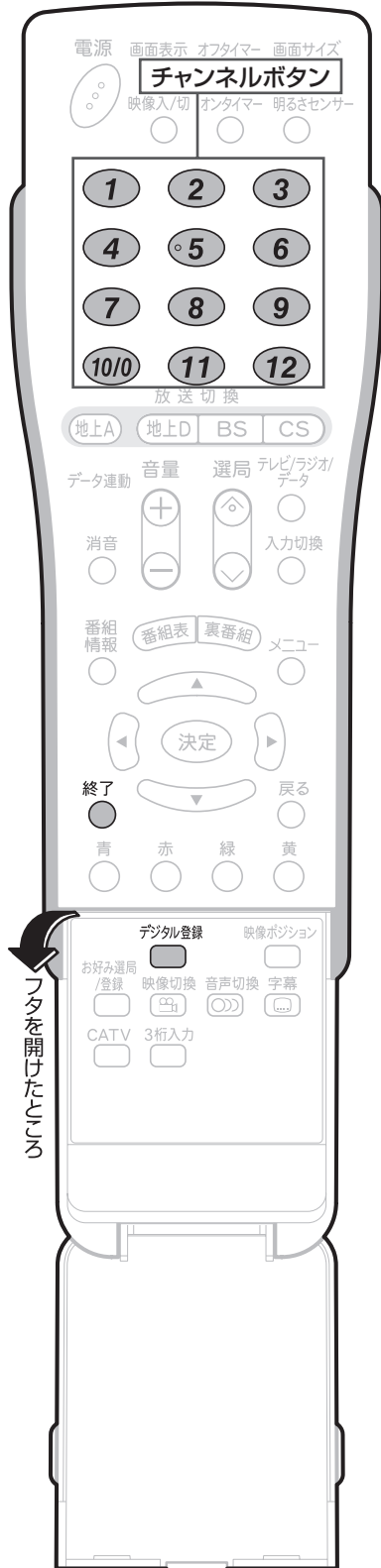
地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

- 地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め（枝番）を選んで番組を選局します。
- 3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）の選択画面が表示されます。

1 **数字ボタン（1～10/0）で4桁めの数字（枝番）を入力し、選局する**

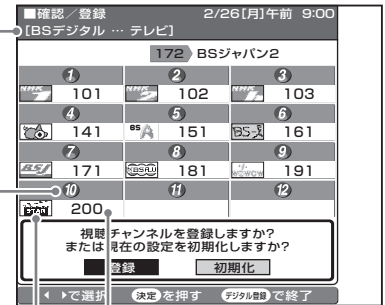
はじめてCSチャンネルを選局するときは

- CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
① 放送切換ボタンの CS を押します。5秒程お待ちください。
② リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。5秒程お待ちください。
③ 番組表 を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

デジタル放送の登録チャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

1 デジタル放送を視聴中に デジタル登録 を押す

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

[例] BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

・確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンまたは終了ボタンを押します。

・各デジタル放送のデジタル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
・デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタン(メディア切換えボタン)を押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのデジタル登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	ー	ー	ー	ー
2	NHK BS2	102	ー	ー	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	ー	ー	ー	ー
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	ー	ー
5	BS 朝日	151	ー	ー	ー	ー
6	BS-i	161	ー	ー	ー	ー
7	BS ジャパン	171	ー	ー	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	ー	ー	ー	ー
9	WOWOW	191	ー	ー	ー	ー
10/0	スター·チャンネル	200	ー	ー	ー	ー
11	ー	ー	ー	ー	ー	ー
12	ー	ー	ー	ー	ー	ー

CS（110度CSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	ー	ー
2	001	ー	ー
3	ー	ー	ー
4	ー	ー	ー
5	ー	ー	ー
6	ー	ー	ー
7	ー	ー	ー
8	ー	ー	ー
9	ー	ー	ー
10/0	ー	ー	ー
11	ー	ー	ー
12	ー	ー	ー

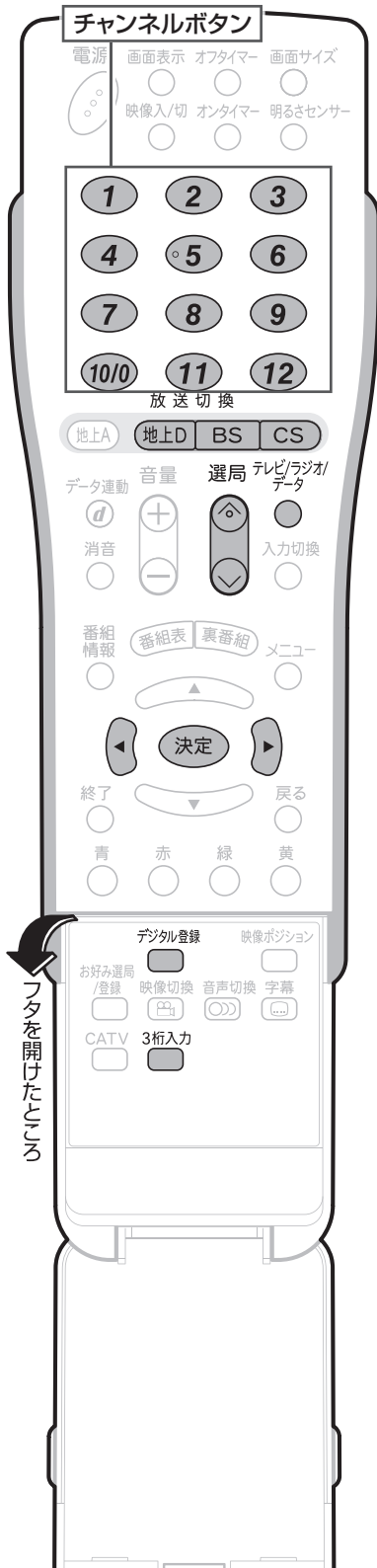
地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合·東京	011
2	NHK教育·東京	021
3	ー	ー
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	ー	ー
11	ー	ー
12	放送大学	121

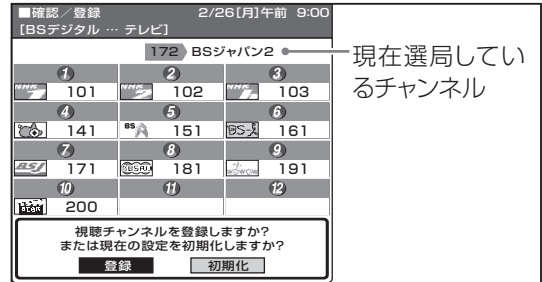
関東の東京で受信できるチャンネルです。

• 上記チャンネルプランは2006年4月現在のもので、変更されることもあります。

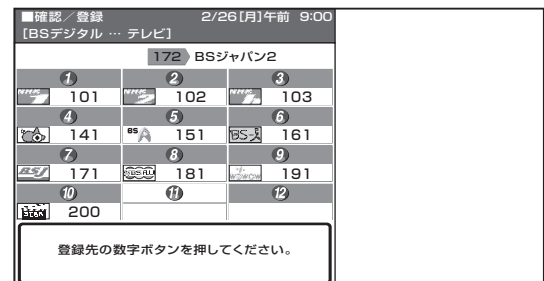
デジタル放送のお好みのチャンネルを登録する

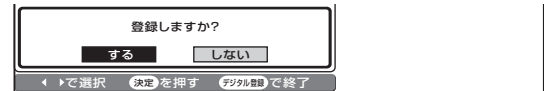
■ 各デジタル放送ネットワーク(地上D、BS、CS)の各メディア(テレビ/ラジオ/データ)につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(1~12)に登録することができます。

1 ① **登録したいチャンネルを選局する**

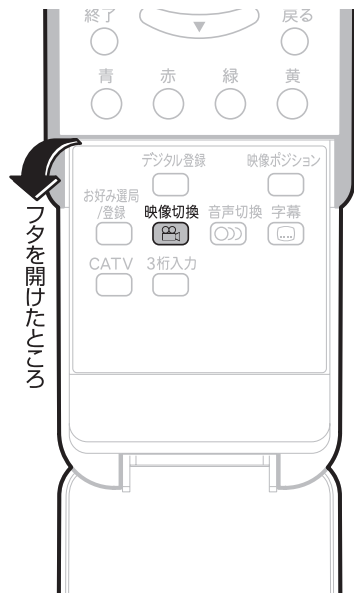
② **を押す**

③ ◀▶**で「登録」を選び、**(決定)**を押す**

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2 **登録したいチャンネルボタン(1~12)を押す**

[例]「BSジャパン2」(172チャンネル)を11に登録する場合は、チャンネルボタン11を押します。

・登録確認画面が表示されます。

3 ◀▶**で「する」を選び、**(決定)**を押す**

複数の映像や音声を切り換える

■ 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

1 **映像切換 を押し、映像を切り換える**

・ボタンを押すたびに映像が切り換わり、画面右上に映像表示が出ます。

（画面例）

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

1 **音声切換 を押し、音声を切り換える**

・ボタンを押すたびに音声が切り換わり、画面右上に音声表示が出ます。

（画面例）

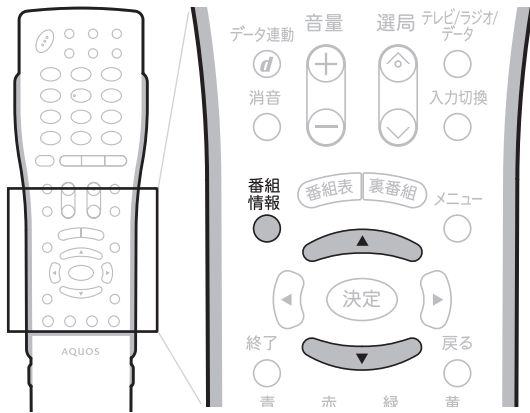
マルチ音声番組のとき　→音声1→音声2～8※→

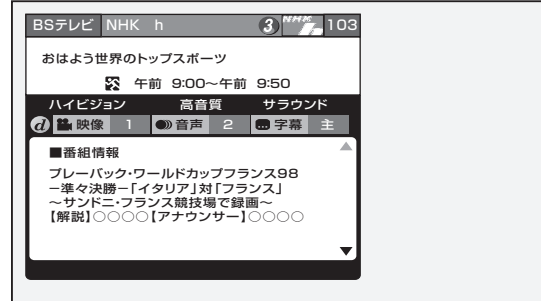
※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主→副→主/副→

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

視聴中の番組の情報を見る

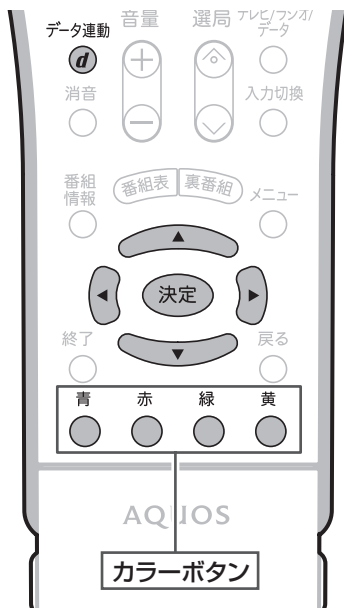
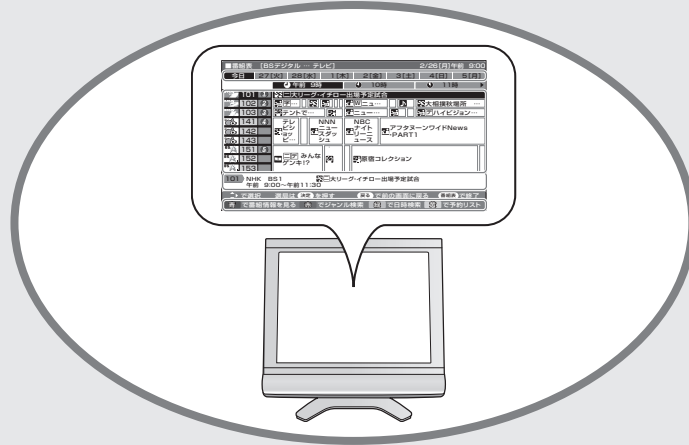
■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

1 番組情報 **を押し、番組情報を表示する**

（番組情報の画面例）

・表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。

・番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

・電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動(*d*)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

1 データ連動 *d* **を押す**

・連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

・テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動(*d*)ボタンを押します。

データ放送の基本操作

1 ① **で項目を選び、決定を押す**

② **カラーボタンに対応した項目のボタンを押す**

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

電子番組表(EPG)の使いかた

ページ

電子番組表(EPG)について

■ デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

電子番組表(EPG)を表示する

デジタル放送を視聴中に 番組表 を押します。

以下の操作は、番組表が表示されているときに行います。

デジタル放送の番組を探して 決定 を押す

決定 で番組表から番組を選べます。

他のネットワークやメディアの番組を探す

地上D BS CS でネットワーク(放送)を選びます。

テレビ/ラジオ/データ でメディアを選びます。

赤 を押して「映画」「音楽」「ドラマ」などのジャンル別に探す

緑 を押して日時を指定して探す

青 を押して番組情報を見る(詳しくは**96**ページ)

放送予定番組の詳しい内容が表示されます。

視聴中の番組の詳しい情報を見る

番組情報 を押します。(詳しくは**90**ページ)

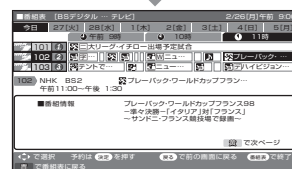
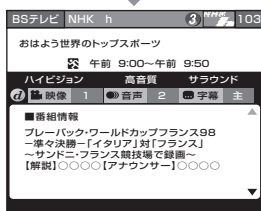
BSテレビ NHK h 103
おはよう世界のトップスポーツ
午前 9:00〜午前 9:50
ハイビジョン 高音質 サラウンド
映像 1 音声 2 字幕 主
■番組情報
ブレーバック・ワールドカップフランス98
ー準々決勝ー「イタリア」対「フランス」
〜サンドニ・フランス競技場で録画〜
【解説】○○○○【アナウンサー】○○○○

裏番組の情報を知りたいときは、

裏番組 を押してから 青 を押します。

(詳しくは**96**ページ)

視聴中の番組のチャンネル番号を知りたいとき

画面表示 を押します。

- **地上デジタル番組表について**
  地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(**94**ページ)

・電子番組表を表示できるのはデジタル放送のみです。
・本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。

番組の放送内容を調べたり、
録画の予約もできるのね。

電子番組表（EPG）の例

（電子番組表画面の例）

- **放送中の番組を選んだとき**
  ➪選んだ番組が選局されます。
- **未来の番組を選んだとき**
  ➪予約選択画面になります。
  （**100**ページ）

ジャンル別番組表 （詳しくは**95**ページ）

ジャンル別に一覧表示された番組から、 **で選び、決定を押す**

ジャンル名

■番組表 [BSデジタル … テレビ] 2/26[月]午前 9:00
◀ ▶でジャンルの切換えができます。
■ジャンル検索 ◀ ニュース／報道 ▶

CH	番組名	放送時間
101 ①	AAAモーニングライブ	2/26[月]午前 9:00～午前 9:50
102 ②	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00～午前10:00
103 ③	BSニュース50	2/26[月]午前 9:00～午前10:30
141 ④	ニュースダッシュ	2/26[月]午前10:00～午前10:30
142	ニュース	2/26[月]午前10:00～午前10:50
143	ニュース	2/26[月]午前10:30～午前11:00
151 ⑤	ニュース	2/26[月]午前11:00～午後 0:00
152	ニュース	
153	ニュース	2/26[月]午前11:30～午後 0:00

2/26[月]午前 9:00～午後 0:00までの番組です。
黄 で次の3時間
で選択 選局は 決定 を押す 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了
青 で番組表に戻る

番組名

日時指定した番組表 （詳しくは**95**ページ）

日付と時間帯を指定して番組を選び、 **を押す**

時間表示

■番組表 [BSデジタル … テレビ] 2/26[月]午前 9:00
今日 27[火] 28[水] 1[木] 2[金] 3[土] 4[日] 5[月]
午前 9時 10時 11時
101 大リーグ・イチロー出場予定試合
102 大相撲秋場所
103 テントで… ニュー… ハイビジョン…
141 テレビ ニュースダッシュ NBCナイト アフタヌーンワイドNews

電子番組表（EPG）に表示されるアイコン

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

番組情報を示すアイコン

アイコン	内容
	視聴予約している番組
	録画予約（ビデオ連動予約）している番組
	有料放送、または PPV（ペイパービュー）番組
	デジタルコピーが 禁止の番組
	デジタルコピーが 1回のみ可能な番組

番組を予約（視聴予約・録画予約）する

放送予定の番組を予約します。
放送予定の番組を選んで を押します。

▼予約選択画面

番組の予約方法を選んでください。
視聴予約 録画予約 予約しない

（詳しくは**100**ページ）

予約を確認する

黄（予約リスト）を押します。

▼予約リスト画面

■番組表 [BSデジタル … テレビ] 2/26[月]午前 9:00
■予約リスト 予約内容の確認・変更・取消ができます。

	放送時間	CH	番組名
視聴	2/26[月]午前 9:00～午前 9:50	[BS102]	マニュアル浜口夫人
録画	2/26[月]午前10:00～午前10:30	[BS103]	新春、芸能人大集合
視聴	2/26[月]午前11:00～午前11:30	[BS141]	この町、あの町、ぶらり…
視聴	2/26[月]午前11:30～午前11:50	[BS142]	K－5格闘技選手権

（詳しくは**105**ページ）

カラーボタンの機能について

- 青（番組情報を見る）番組情報が表示されます。
- 赤（ジャンル検索）ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。
- 緑（日時検索）日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。
- 黄（予約リスト）予約した番組を一覧表示することができます。予約リストは予約の取消しや変更に使います。

※カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。（画面上に機能表示がないカラーボタンは、押しても動きません。）

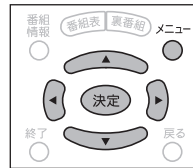
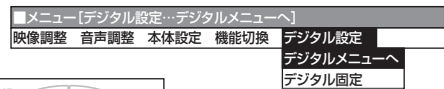
電子番組表(EPG)を利用するための設定を行う

番組表取得設定(地上デジタル放送)

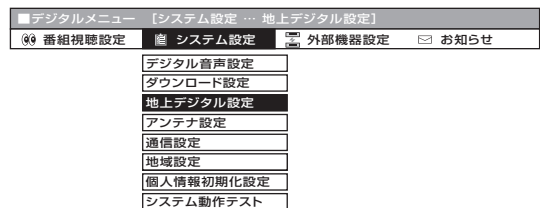
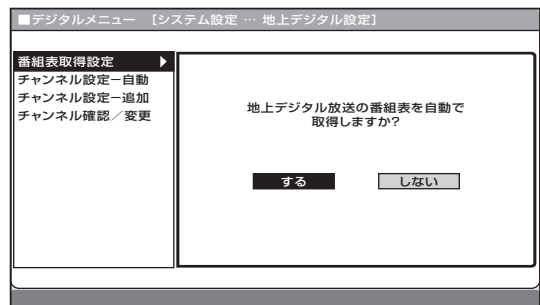
■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を取得、表示するときの詳細な設定です。
設定を「する」にしておくと、電源待機中に自動取得し、電子番組表(EPG)の表示が早くなります。

- 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選び、決定 を押す

- デジタルメニュー画面が表示されます。

3 ① ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

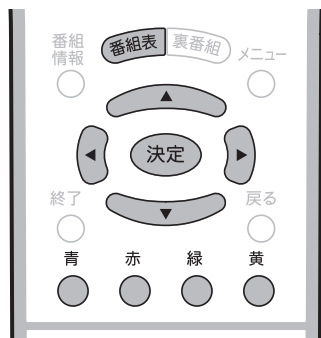
② ▲▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「番組表取得設定」を選び、決定 を押す

5 ◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

電子番組表(EPG)で番組を探す

見たい番組を探す

1 **番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

・電子番組表(EPG)の例が**93**ページにあります。

2 **見たい番組を（決定）で選び、決定を押す**

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未来の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。(**100**ページ参照)

電子番組表の表示内容

・テレビ放送……8日分
・ラジオ放送……3日分
・データ放送……最低1日分
※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

日時を指定して番組を探す

■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

1 ① **番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

② **緑(日時検索)を押す**

2 **（決定）で日にちを選ぶ**

・日にちを選んだあとに決定ボタンか赤ボタン(実行)を押すと、選んだ日にちの電子番組表が表示されます。

3 ① **黄(時間を選ぶ)を押す**

② **（決定）で時間を選び、決定を押す**

・指定された日時の電子番組表が表示されます。

4 **（決定）で番組を選び、決定を押す**

分類(ジャンル)で番組を探す

■ 番組を分類(ジャンル)別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

1 ① **番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

② **赤(ジャンル検索)を押す**

2 **（決定）でジャンルを選ぶ**

3 **見たい番組を（決定）で選び、決定を押す**

・黄ボタンを押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタンを押します。

電子番組表(EPG)で番組の内容を確認する

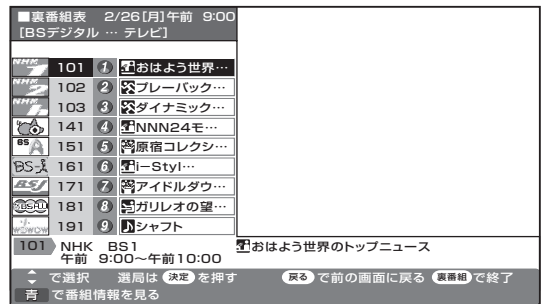
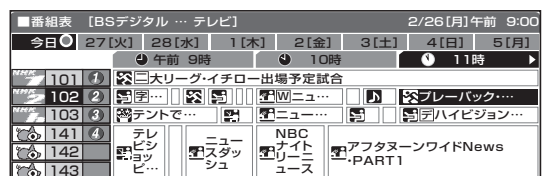
番組の内容を確認する

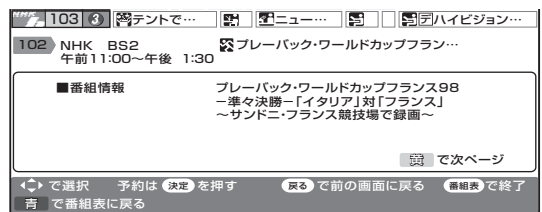
・電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

・気になる裏番組の一覧が確認できます。

裏番組を押し、裏番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を で選ぶ

3 青(番組情報を見る)を押す

・番組情報が表示されます。

・番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
・選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。(裏番組の情報表示中)

視聴中の番組の内容を見るには

・番組情報ボタンを押してください。(90ページ参照)
(電子番組表を表示する必要はありません。)

・地上D･BS･CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ･ラジオ･データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
・裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D･BS･CS)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

デジタル放送の予約と録画

デジタル放送の予約のながれ

電子番組表（EPG）から番組を予約する

■ デジタル放送の番組を電子番組表（EPG）から予約して視聴したり、外部録画機器に録画できます。
■ 予約の種類は「視聴予約」と「録画予約」の 2 種類があります。

番組予約（「視聴予約」と「録画予約」）の手順

くわしくは
100～104ページ

1 **デジタル放送を視聴中に 番組表 を押して電子番組表（EPG）を表示させる**

▼電子番組表（EPG）

2 **番組を選ぶ（日時指定やジャンル検索もできます）**

3 **予約の種類を選ぶ（100ページ）**

視聴予約：
予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

◎ 視聴予約の手順はここまでです。以下の手順は必要ありません。

録画予約（ 4 へ）：
予約した時刻になると、予約した番組がビデオ2入力／出力端子から出力されます。

▼予約選択画面

視聴するための予約です。　録画するための予約です。

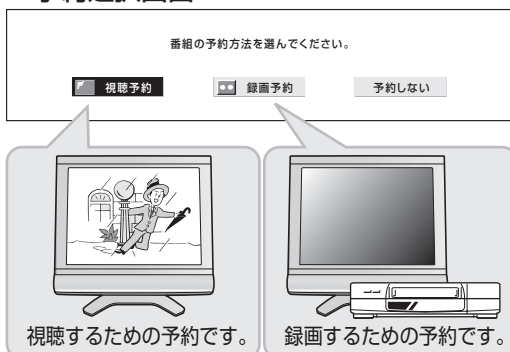
4 **予約の方法を選ぶ（102ページ）**

予約する（次ページの 6 へ）：
無料放送や契約済みの番組を簡単予約します。

詳細を設定する（次ページの 5 へ）：
録画する音声や録画機器の選択、PPVの事前購入などを行います。

予約しない：
予約をしないで、番組表に戻ります。

▼予約選択画面

ビデオデッキ

5 「詳細を設定する」を選んだ場合は（103～104ページ）

受信契約の確認、PPVの事前購入

●BSデジタル放送の視聴契約
BSデジタル放送は、有料放送と無料放送があり、有料放送には、あらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴するPPVがあります。

●110度CSデジタル放送の視聴契約
110度CSデジタル放送は有料放送で、各放送局との個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴するPPVがあります。

映像・音声の選択と、購入設定

●映像や音声について
デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像、副音声などの情報が同時に送られてきます。

▼PPV番組購入画面の一例

▼追加購入グループ情報の一例

6 予約した内容を確認する（105ページ）

予約した番組の詳細を確認します。

予約を解除

7 予約完了

デジタル放送の録画に関するご注意

デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

- 有料放送を視聴･予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。

デジタル放送の予約の種類と手順

予約の種類について

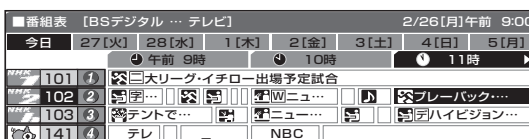
■ 電子番組表から、見たい番組の視聴予約や録画予約ができます。

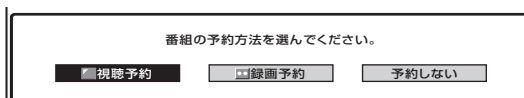
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し(**105**ページ)が必要です。

● 番組を見逃したくない	➡ 視聴予約(**101** ページ)
● 番組をビデオテープやハードディスク、DVD ディスクに録画したい	➡ 録画予約(**101** ページ) ⟶ ビデオ連動予約(**102** ページ)
● 予約の確認や取り消し、変更をしたい	➡ (**105** ページ)

予約操作を始めよう

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 予約したい番組を ◀▶ で選び、決定 を押す

- 予約選択画面になります。
- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**95**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 ◀▶ で予約の種類を選び、決定 を押す

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順に進みます。
(☞**101**ページ)

「録画予約」…… ビデオ2入力/出力端子に接続した録画機器で録画できます。
(ビデオ連動録画)
録画予約の手順に進みます。
(☞**102**ページ)

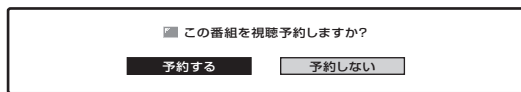
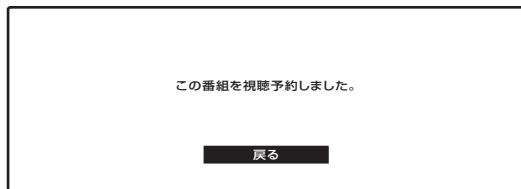
次ページへつづく

「視聴予約」を選んだ場合

3 **で「予約する」を選び、決定を押す**

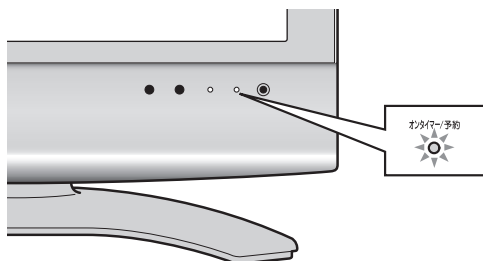
この番組を視聴予約しますか？
予約する　予約しない

4 「戻る」で決定を押す

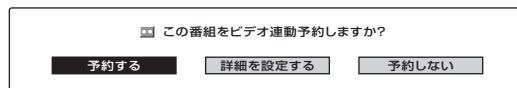
この番組を視聴予約しました。
戻る

・視聴予約が設定されました。
予約をすると、本体前面右下の予約ランプが赤色に点灯します。

「録画予約」を選んだ場合

・ビデオ連動予約で番組を録画予約できます。
（☞102ページ）

この番組をビデオ連動予約しますか？
予約する　詳細を設定する　予約しない

視聴予約・録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

・リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は予約が実行されません。

・番組の始まる2分前までに予約して、電源を切るときは、リモコンで電源を切るのね。
・有料放送は契約してから予約してね。
・予約できる番組数は16番組までです。

・デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
・あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・番組開始の2分前から予約準備が始まります。
・録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
・予約した番組の開始約2分前から、ビデオ2入力／出力端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。（本体の電源スイッチで電源を切っているときは、出力されません。）

録画予約する

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動予約)

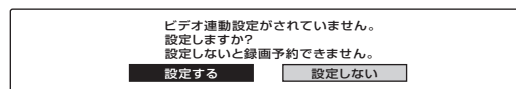
■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル放送音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**126**ページ)
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

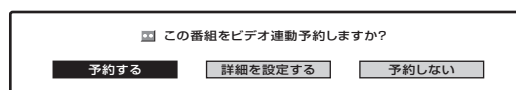
- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**119**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**120**ページ)を済ませておいてください。

1 100ページ「予約操作を始めよう」の手順2で、◀▶で「録画予約」を選び、決定を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

ビデオ連動設定がされていません。
設定しますか?
設定しないと録画予約できません。
設定する　設定しない

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**120**ページ参照)

2 ◀▶で予約の方法を選び、決定を押す

この番組をビデオ連動予約しますか?
予約する　詳細を設定する　予約しない

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

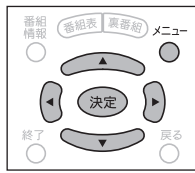
→次ページへ

ビデオ連動録画の詳細設定

■ 映像·音声の詳細の予約設定ができます。
視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。(詳しくは**104**ページ)

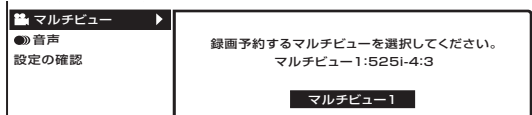
映像の種類を選択する

・映像の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像(最大4つ)

リモコンのボタン

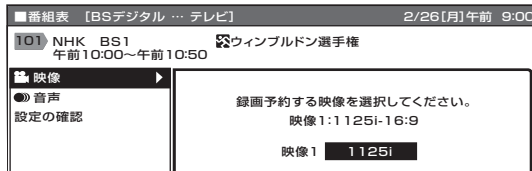
1 マルチビュー番組を選んでいるとき

① **で「マルチビュー」を選び、決定を押す**

② **でマルチビューの種類を選び、決定を押す**

副映像のある番組を選んでいるとき

① **で「映像」を選び、決定を押す**

② **で映像を選び、決定を押す**

・映像の数は、番組によって異なります。

予約ランプについて
・ **101**ページを参照してください。
実行中の録画予約を解除するには
・ **105**ページを参照してください。

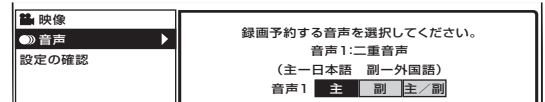
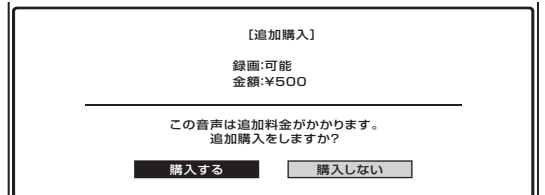
録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意
・ **101**ページを参照してください。

音声の種類を選択する

・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。
「音声」……… 音声(最大8つ)
「二重音声」… 主音声と副音声

1 ① **で「音声」を選び、決定を押す**

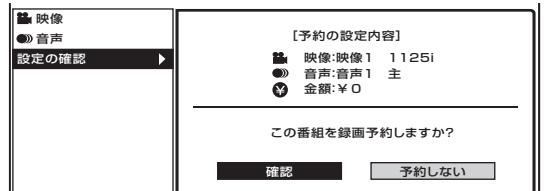
② **で音声を選び、決定を押す**

・音声の数は、番組によって異なります。

・映像·音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

・「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

予約設定を確認する

1 **で「設定の確認」を選び、決定を押す**

2 ① **画面に表示された設定内容を確認する**

② **「確認」で決定を押す**

・録画予約が設定されました。
・「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

録画出力信号について

ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、ビデオ2入力/出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。
(この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。)

詳細設定時のメッセージについて

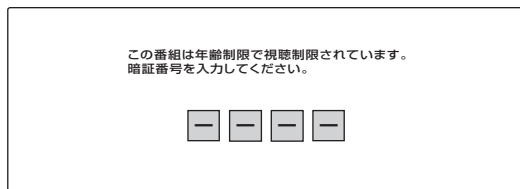
■ ここでは詳細設定を選んだときに表示されるメッセージについて説明します。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

1

・暗証番号入力画面が表示されます。

この番組は年齢制限で視聴制限されています。
暗証番号を入力してください。

－ － － －

・数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力してください。（**152**ページ参照）

B-CASカード未挿入で有料番組を予約したとき

1

・「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。B-CASカードを挿入してから、予約をしなおしてください。

非契約の有料番組を予約したとき

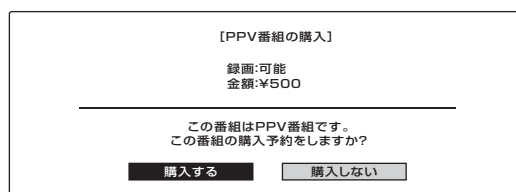
1

・「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

PPV番組（有料番組）を予約したとき

・PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

ビデオ連動予約の場合

1 **◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

・「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

予約の確認・取り消し・変更をする

■ 番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

予約リストを表示する

1 ① 番組表 **を押し、電子番組表を表示する**

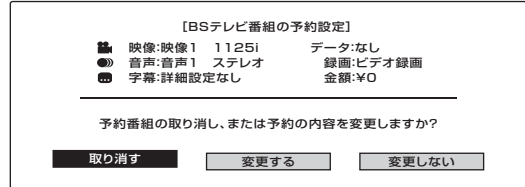
② 黄 ○ **(予約リスト)を押し、予約リストを表示する**

▼予約リストの例

・予約リストで現在の予約内容を確認します。

・表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。

予約を確認したいとき

1 予約リストから ◎ で確認したい予約を選び、決定 を押す

・予約した番組の設定内容が表示されます。

予約を取り消したいとき

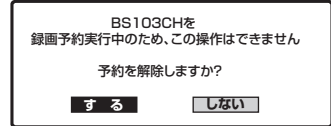
1 予約リストから ◎ で取り消したい予約を選び、決定 を押す

2 ◎ で「取り消す」を選び、決定 を押す

3 ◎ で「する」を選び、決定 を押す

おしらせ

実行中の録画予約を解除するには

・デジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

予約を変更したいとき

1 予約リストから ◎ で変更したい予約を選び、決定 を押す

2 ◎ で「変更する」を選び、決定 を押す

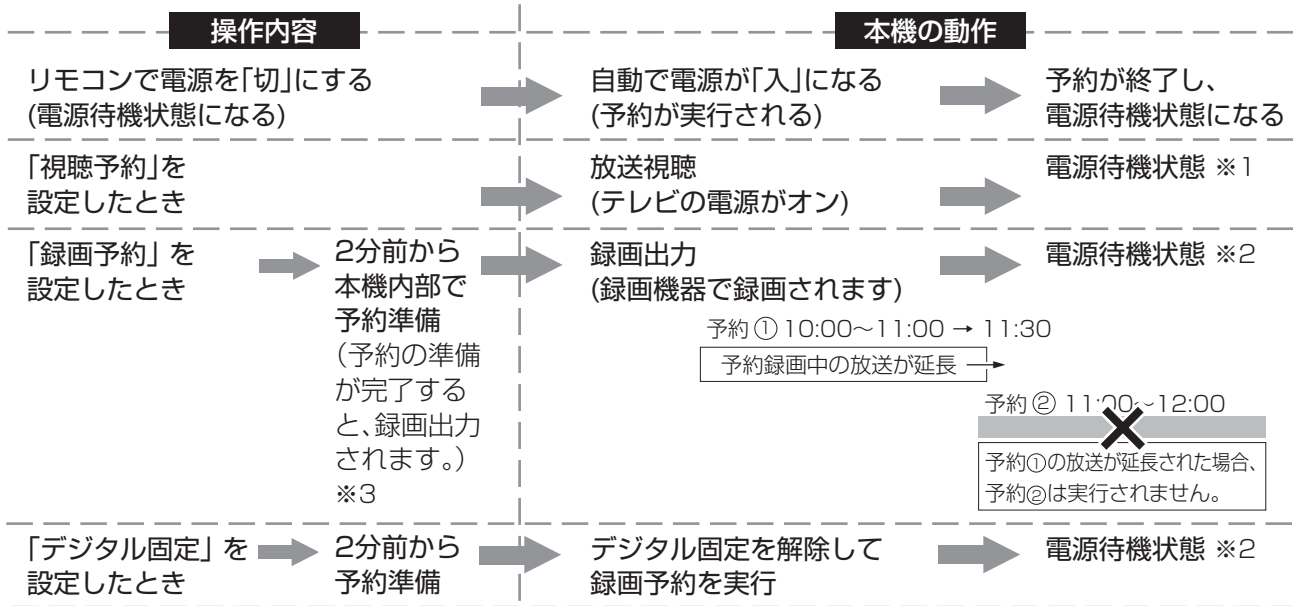
・予約選択画面になります。

3 予約操作をやりなおす

・**100～104**ページの操作手順を参照してください。

予約動作や出力信号について

電源待機状態からの予約動作について

・デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※1 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

※2 電源待機状態で予約実行中は、リモコンで電源オンした場合、録画中の番組の視聴および地上アナログ放送の選局や、外部入力に切り換えることはできますが、デジタル放送(地上D、BS、CS)の選局ができません。

※3 録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)機能を使って録画する場合は、予約した時刻の約2分前から録画が始まります。

録画出力／モニター出力から出力される信号について

・「録画出力」に設定したときと「モニター出力」に設定したときとでは、出力される信号が異なります。

ビデオ2設定 ＼ 視聴画面	デジタル固定、録画予約ともしていない場合		デジタル固定または録画予約している場合
	モニター出力	録画出力	
地上アナログ放送	地上アナログ放送	デジタル放送（最後に視聴したチャンネル）	デジタル放送（設定したチャンネル）
デジタル放送（地上デジタル、BS、CS）	デジタル放送（視聴画面と同じチャンネル）	デジタル放送（視聴画面と同じチャンネル）	
映像入力（ビデオ1）	ビデオ1入力	デジタル放送（最後に視聴したチャンネル）	
S2入力（ビデオ1）	映像は出力されません		
D3入力（コンポーネント）	映像は出力されません		
電源スタンバイ時	出力されません	出力されません	デジタル放送（設定したチャンネル）

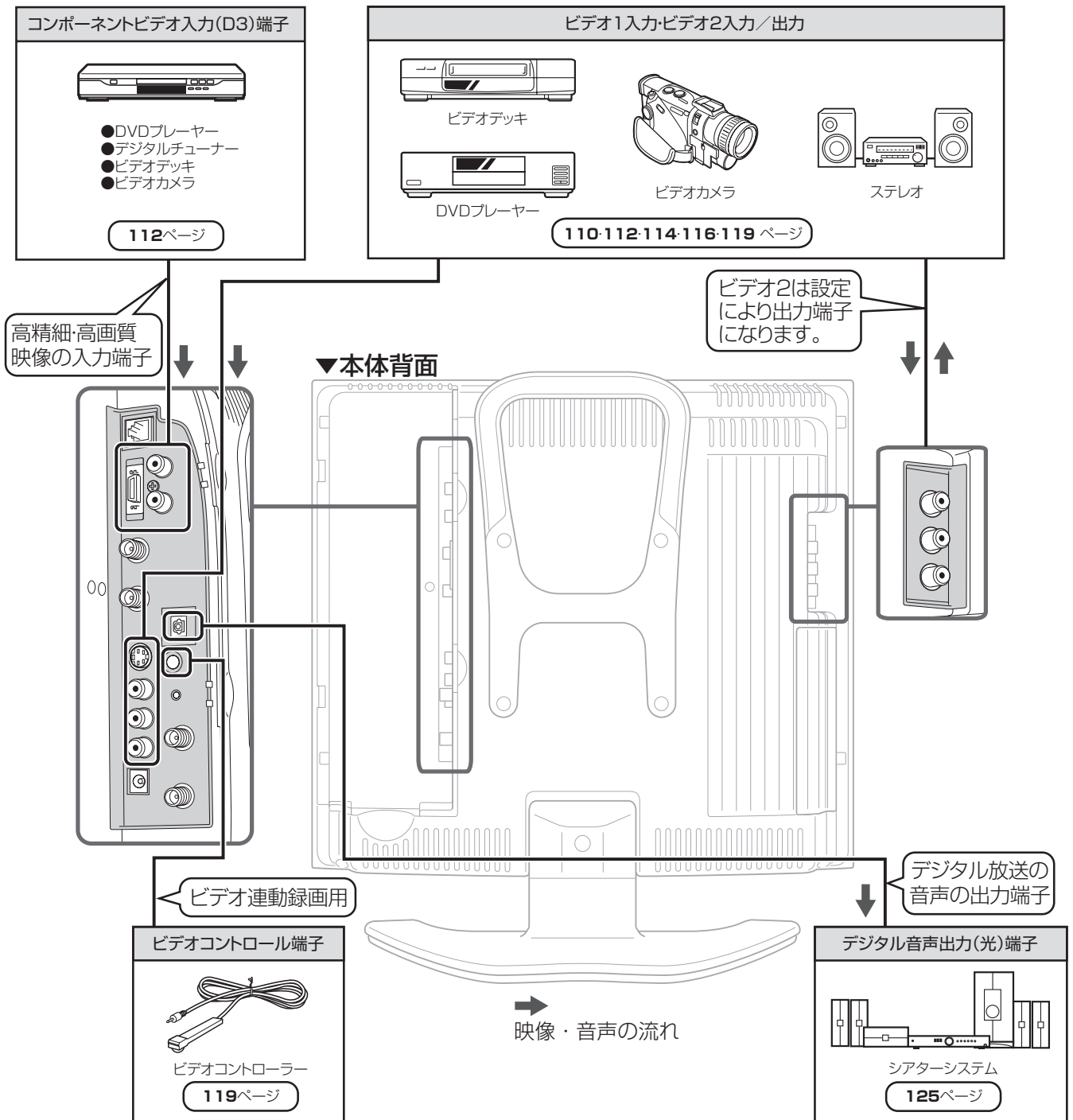
・ビデオ2入力／出力端子から、デジタルメニュー画面、電子番組表、データ放送画面、字幕などの画面表示も出力されます。
・有料放送を視聴･予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
・契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
・番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
・録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、デジタルに関するリモコン操作をし、そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

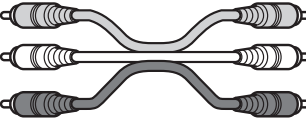
BS103CHを
録画予約実行中のため、この操作はできません
予約を解除しますか?
する　しない

録画や再生などの機器の接続

他の機器の接続について

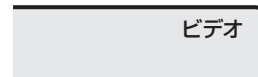
接続クイックガイドの手順 6

接続できる機器

接続した機器を使うときは

- ビデオ1入力端子に接続した機器の再生画像を見たいときは、入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

ビデオ1

接続した機器の名前を表示させるには

- ビデオ1入力端子に接続した機器がビデオデッキの場合、入力切換画面の表示を「ビデオ」に設定することもできます。（**124**ページ）

ビデオ

こんなことができます

	① 端子の形と呼び方	② 端子の詳細と接続ケーブル		画質など
コンポーネントビデオ入力	D(3)端子		・ビデオ機器側のD端子は、D1～4の種類がありますが、1～3の番号のいずれでも接続できます。	D4: より鮮明な高精細映像 D3: 高精細映像 D2: より鮮明な高画質映像 D1: 高画質映像 (D3～1に対応) ※本機の映像表示能力は、640×480画素の範囲になります。
	白 赤 左－音声－右 音声端子		・D端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
ビデオ1入力	S(2)端子		・ビデオ機器側のS端子は、S、S1、S2の種類がありますが、いずれの種類にも接続できます。	S映像入力に対応。 (S映像：色ニジミの少ない標準映像)
	白 赤 左－音声－右 音声端子		・S端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
ビデオ1入力 ビデオ2入力	黄 白 赤 映像・音声端子		・映像と音声をそれぞれ別に接続します。	標準映像 (525i)

1 接続するビデオ機器側の端子の形を確認する
※ビデオ機器側の端子の番号は必ずしも本機のものと同じではありません。

2 本機とビデオ機器を専用のケーブルで接続する
※接続ケーブルは付属しておりません。
市販品をお求めください。

入力端子の形を確認してケーブルを選び、ケーブルをつないだ入力に切り換えるのね。

入力切換の飛び越しを設定する（スキップ設定）

・本体やリモコンの入力切換ボタンを押したときに、接続していない入力や受信しない放送を飛び越して（スキップ）選ぶことができる機能です。

① メニュー画面から「本体設定」－「入力設定」を選び、決定を押す

② で「スキップ設定」を選び、決定を押す

本体の入力/放送切換ボタンでは、テレビの放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル）も切り換えることができます。

③ で項目を選ぶ

④ で「する」を選び、決定を押す

■メニュー[本体設定…入力設定]
項目を選んで確定してください
スキップ設定
ビデオ2設定
コンポーネント　しない
ビデオ1　◀す　る▶
ビデオ2　しない
地上アナログ　しない
地上デジタル　しない
ＢＳデジタル　しない
ＣＳデジタル　しない

ビデオやDVDを見る

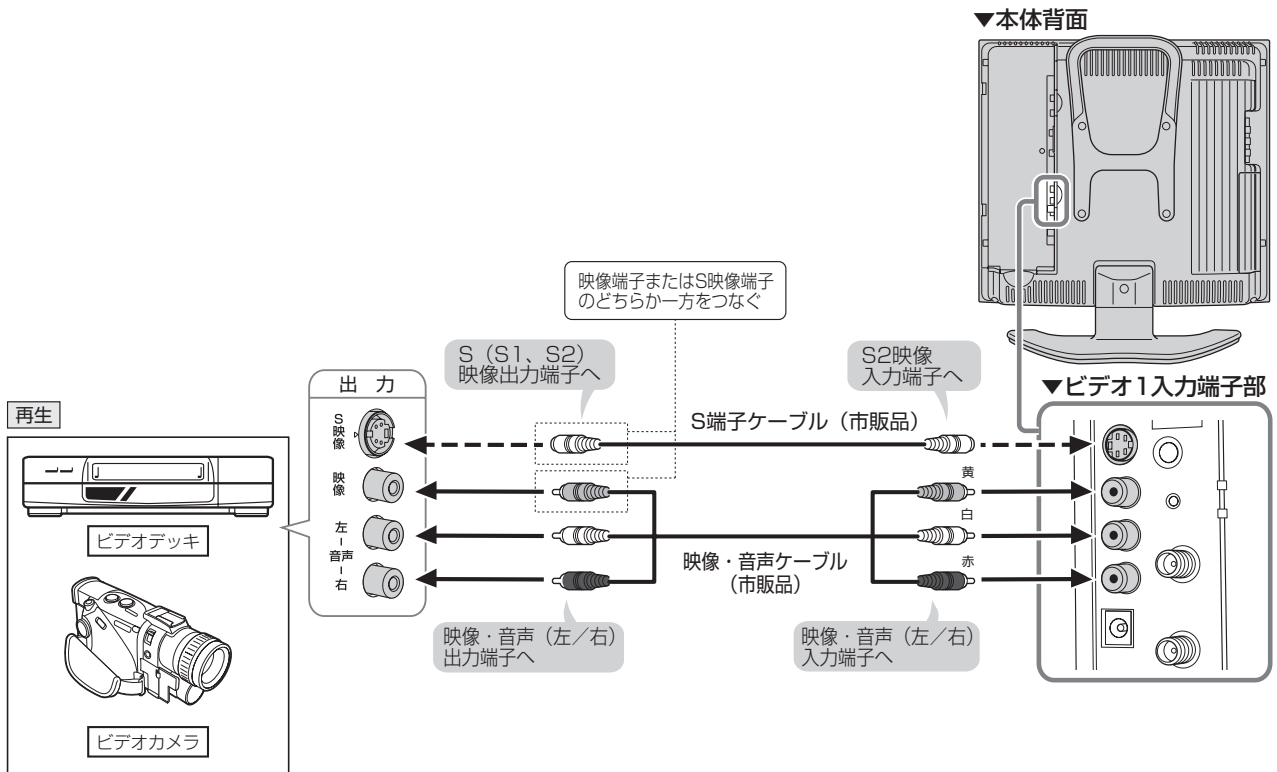
■ 本機は映像入力端子を3系統備えており、ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの外部再生機器を3台まで接続することができます。
■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

■ 接続上のご注意

- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

ビデオ機器の接続のしかた

映像入力端子、S2映像入力端子に接続する

- 音声はそれぞれの音声端子（左／右）に接続してください。
- ビデオ1入力のS2映像・音声入力端子または、ビデオ1入力・ビデオ2入力の映像・音声入力端子に接続できます。
- ビデオ2入力に接続するときは、ビデオ2入力端子設定を「ビデオ2入力」に設定してください。（**123**ページ）
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子（ビデオ映像端子）より色ニジミの少ない映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。（S端子接続の場合、画面サイズ制御信号には対応していません。）

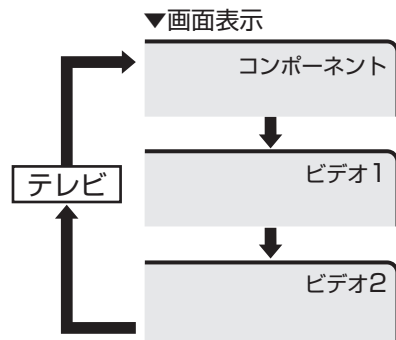
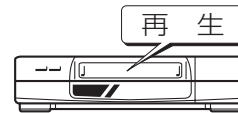
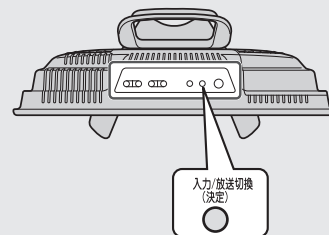
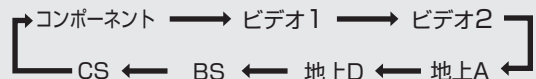
ビデオ機器の再生映像を見る

[例] ビデオ1入力に接続したビデオ機器の再生映像を見る

1 ビデオ機器の準備をする

① 本機背面のビデオ1入力にビデオデッキを接続し、電源を入れる
② 再生したいビデオテープを入れる

2 入力切換を押し、ビデオ1を選ぶ

• 入力切換ボタンを押すごとに、以下のように画面が切り換わります。

3 ビデオ機器を再生状態にする

本体天面操作部の入力/放送切換ボタンでも入力を切り換えられます。

このときは次の順で切り換わります。

• 再生するビデオ機器の取扱説明書を併せてお読みください。
• ビデオ2を出力に切り換えている場合は、入力切換ボタンでビデオ2は選べません。

DVDプレーヤーなどの接続のしかた

■ DVDプレーヤーなどに、D端子、S端子などの高精細映像に対応した出力端子がついている場合は、その出力端子に合った接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

D3映像入力端子、S2映像入力端子に接続する

- 音声はそれぞれの音声端子（左／右）に接続してください。
- コンポーネントビデオ入力のD3映像・音声入力端子またはビデオ1入力のS2映像・音声入力端子に接続できます。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- D3端子、S2端子を使うときは、映像端子に接続する必要はありません。
- D3端子は高精細な画質で入力された映像を再現するための端子です。
  標準画質で入力された映像は同じ標準画質になります。

▼本体背面

▼ビデオ1入力、
コンポーネントビデオ入力（D3）端子部

- D端子は映像用です。
  音声ケーブルも接続してください。

出力
D映像
Y
PB
PR
右－音声－左

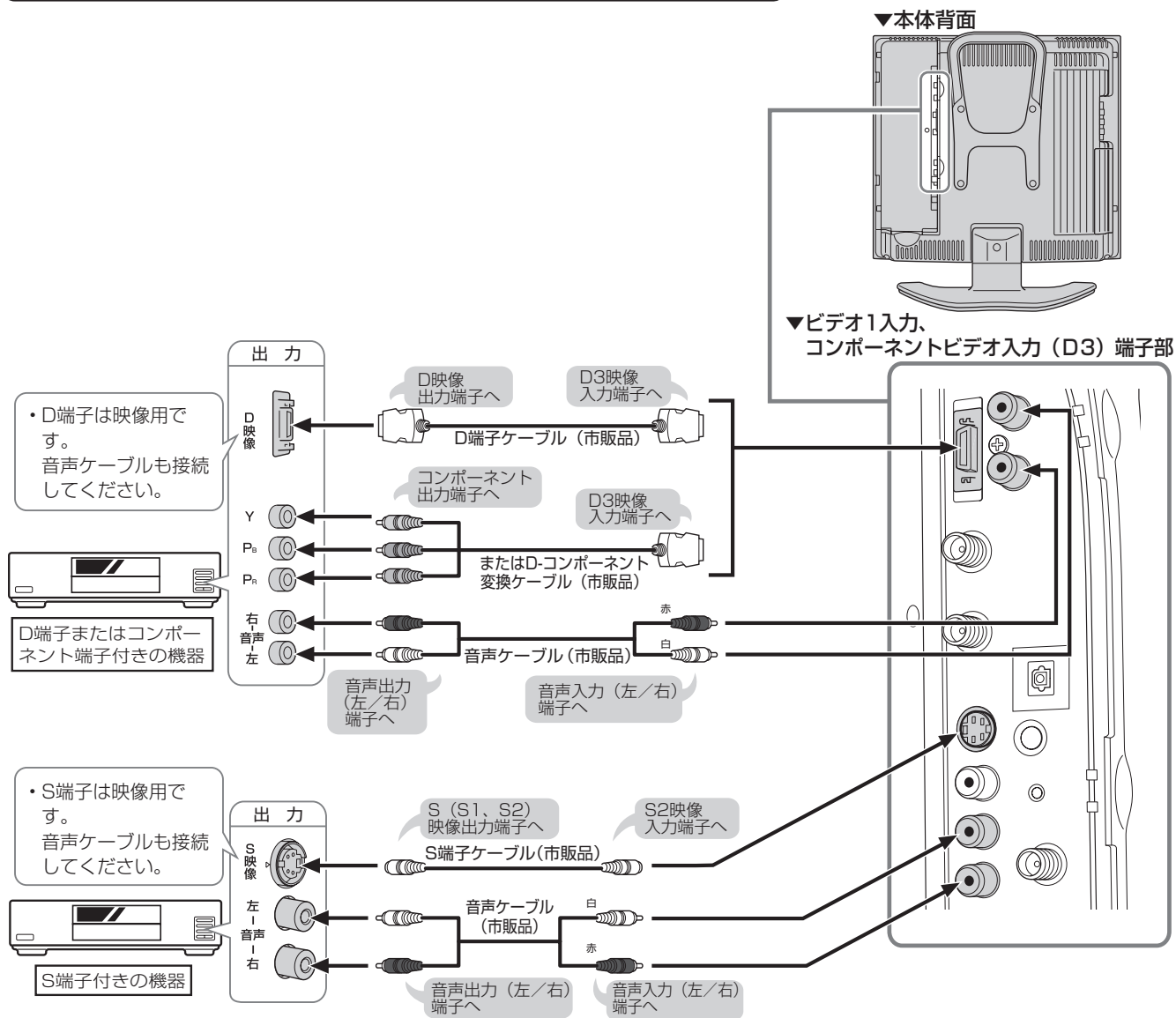
D映像出力端子へ
D3映像入力端子へ
D端子ケーブル（市販品）
コンポーネント出力端子へ
D3映像入力端子へ
またはD-コンポーネント変換ケーブル（市販品）
赤
白
音声ケーブル（市販品）
音声出力（左／右）端子へ
音声入力（左／右）端子へ

D端子またはコンポーネント端子付きの機器

- S端子は映像用です。
  音声ケーブルも接続してください。

出力
S映像
左－音声－右

S（S1、S2）映像出力端子へ
S2映像入力端子へ
S端子ケーブル（市販品）
音声ケーブル（市販品）
白
赤
音声出力（左／右）端子へ
音声入力（左／右）端子へ

S端子付きの機器

D3映像入力端子について

- 本機のD3映像入力端子は、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）の映像の入力に対応しています。
- 本機のD3映像入力は液晶パネルの映像表示能力により、D3映像の画質を100%再現できません。

※本機の映像表示能力は、640×480画素の範囲になります。

ビデオを見るための接続のしかたです。

- 映像を見るときは、本機の入力と接続機器の出力をつなぎます。
- デジタル放送を録画するときは、本機のビデオ2入力／出力端子と接続機器の入力をつなぎます。

高精細映像を楽しむ

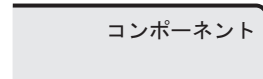
■ 本体背面のコンポーネントビデオ入力（D3映像）端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。

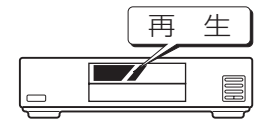
［例］コンポーネントビデオ入力（D3映像）端子に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

1 DVDプレーヤーの準備をする

① 本体背面のコンポーネントビデオ入力端子にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる

② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換を押し、コンポーネント入力を選ぶ

3 DVDプレーヤーを再生状態にする

再　生

本体天面操作部の入力/放送切換ボタンでも入力を切り換えられます。

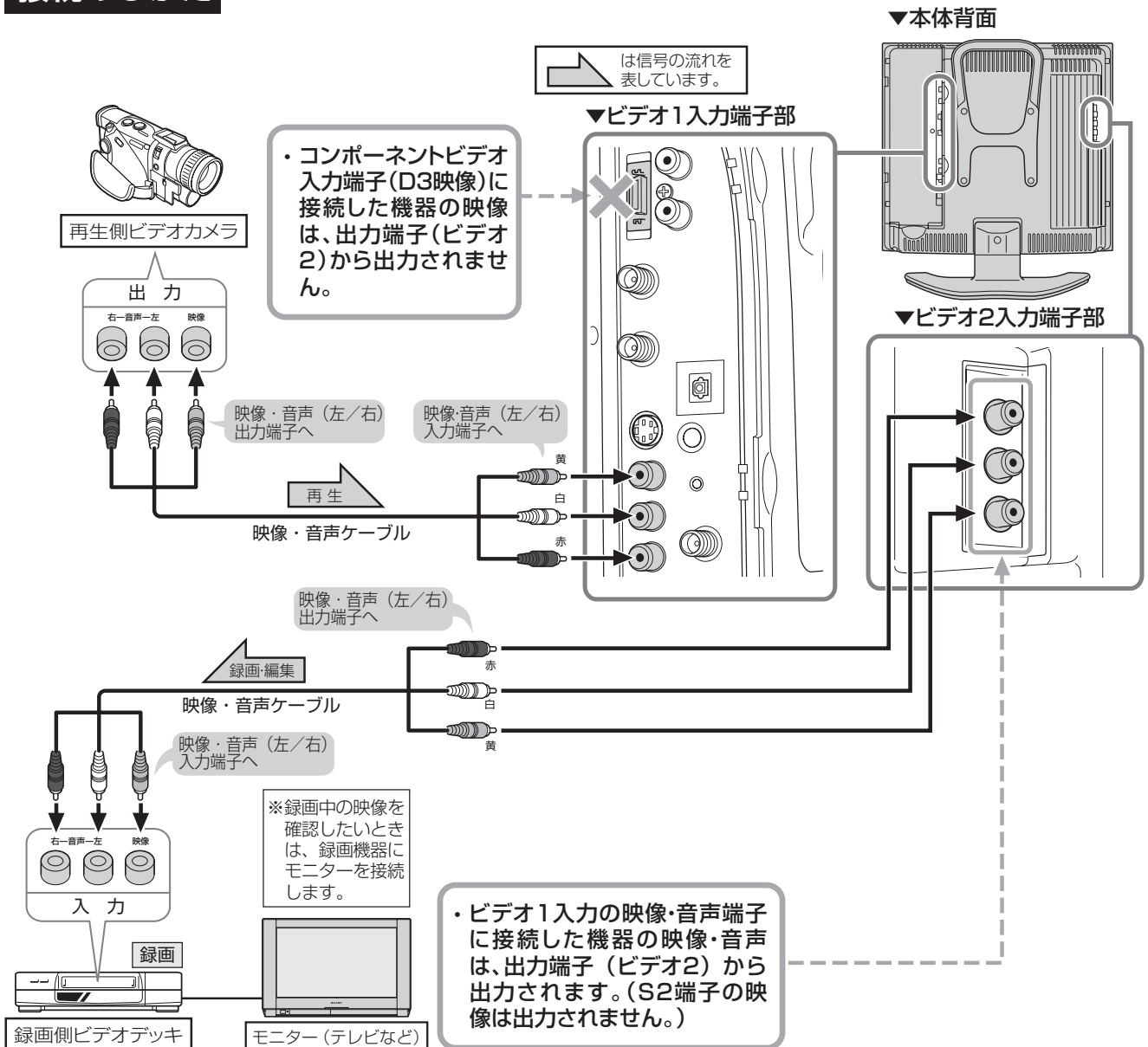
このときは次の順で切り換わります。

- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

ビデオカメラの映像をビデオデッキで録画する

接続について

[例] 本機背面のビデオ1入力に接続したビデオカメラの映像を、ビデオ2入力／出力端子(「モニター出力／音声固定」に設定)につないだビデオデッキに録画する

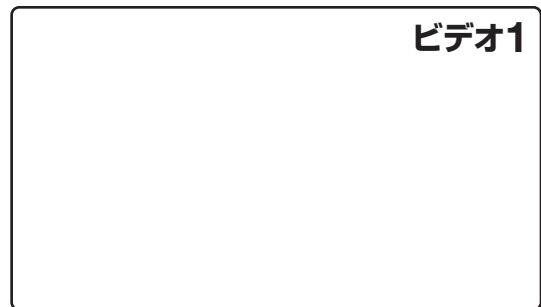
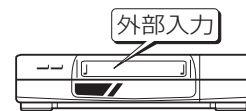
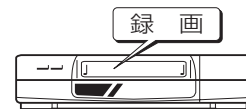
接続のしかた

ビデオ2入力／出力端子について

- メニュー設定により「入力」「モニター出力(音声固定または音声可変)」「録画出力」を切り換えて使います。予約録画中、デジタル固定中は、「モニター出力(音声固定または音声可変)」に設定していても「録画出力」になります。
- **モニター出力(固定または可変)として使う場合**
  S2映像またはD3映像入力端子から入力された映像信号は、ビデオ2入力／出力から出力されません。(音声のみ出力されます。)
- **録画出力として使う場合**
  デジタル放送を録画するときに使います。
  デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像は、標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。

録画の操作について

1 ビデオ2入力／出力をモニター出力(音声固定または音声可変)に切り換える

- ビデオ2入力／出力をモニター出力に切り換えるための「ビデオ2設定」を行ってください。(**123**ページ)

2 入力切換 **を押し、画面を「ビデオ1」に切り換える(113ページ参照)**

3 ビデオ2入力／出力に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

4 ビデオ2入力／出力に接続しているビデオデッキを録画状態にする

5 ビデオ1入力に接続したビデオカメラを再生状態にする

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオ2設定(**123**ページ)を「モニター出力(音声固定または音声可変)」に設定しても、D3映像端子とS2映像端子から入力された映像信号は、ビデオ2入力／出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する

接続について

■ 本機背面の録画出力端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。

接続のしかた

▼本体背面

メニューでビデオ2設定を「録画出力」に設定してください。（**123**ページ）

※録画中の映像を確認したいときは、録画機器にモニターを接続します。

映像･音声ケーブル（市販品）

赤
白
黄

モニター（テレビなど）

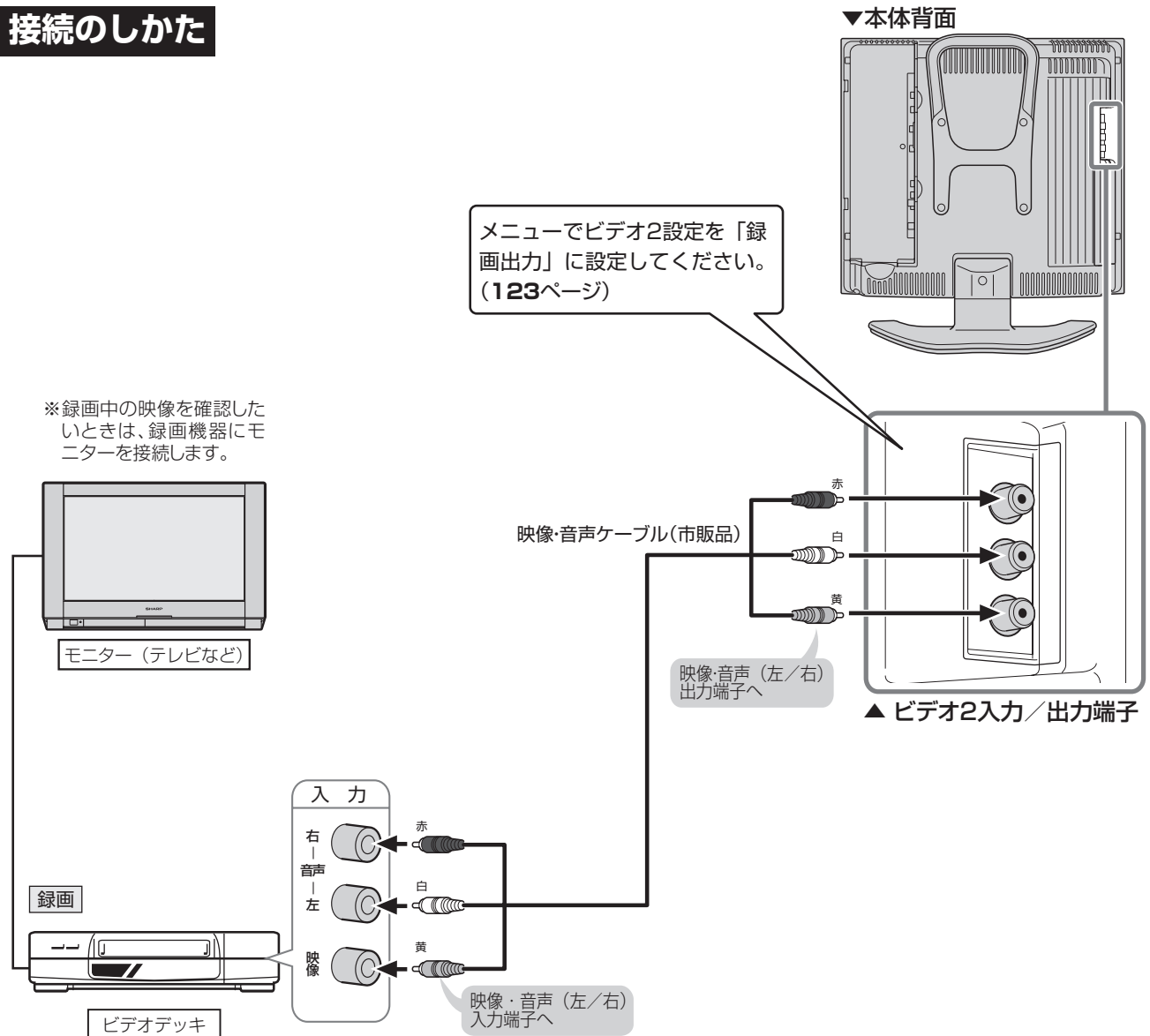
映像･音声（左／右）出力端子へ

▲ ビデオ2入力／出力端子

入力
右―音声―左
映像
赤
白
黄

録画

ビデオデッキ

映像・音声（左／右）入力端子へ

- 録画出力（ビデオ2設定を「録画出力」に設定時）からは、デジタル放送のハイビジョン画質（1125i）の映像を標準画質（525i）に変換して出力します。したがって、**接続された録画機器では標準画質で録画されます。**
- 番組により、録画･録音が制限されている場合などがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

録画機器に外部自動録画機能（シンクロ予約機能）がある場合

- 本機は電源が入っていると、ビデオ2入力／出力端子から、常にデジタル放送が出力されます。そのため、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）が設定されている場合、テレビの電源を入れると自動的に録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約するとき以外は、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定しないでください。

録画の操作について

■ デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。(デジタル固定…**118**ページ)

■ デジタル放送は、ビデオコントローラーで予約録画することができます。(ビデオ連動録画…**120**ページ)

録画出力される信号について

ビデオ2設定を「録画出力」に設定するとビデオ2入力／出力端子からは、デジタル放送の信号のみ出力されます。

- 録画をするビデオデッキの入力切換えや操作方法など、詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- デジタル放送を録画しながら、地上アナログ放送などの裏番組を見るときは、デジタル固定を「する」に設定します。(**118**ページ参照)

[例] NHKハイビジョンの番組を録画するとき

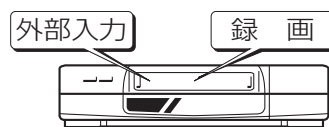
1 **ビデオ2入力を録画出力に切り換える**

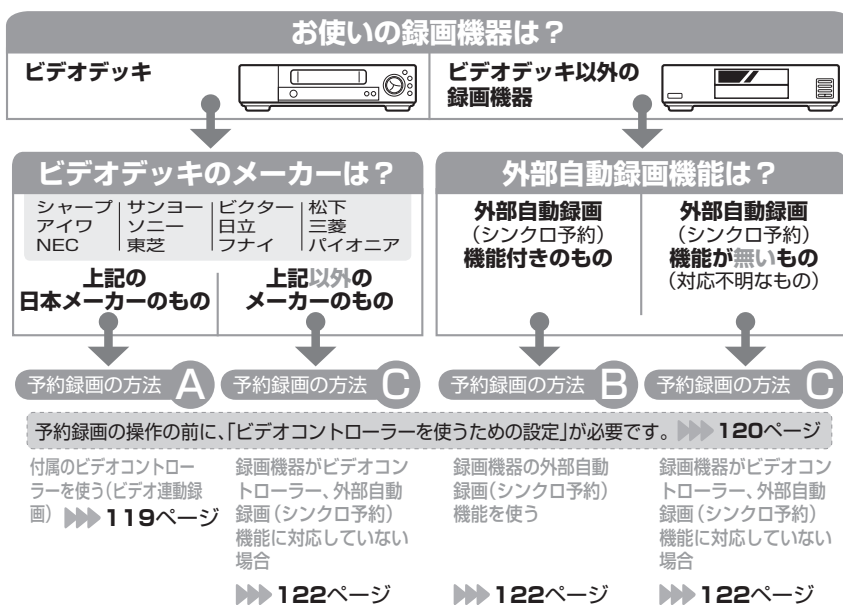
- ビデオ2入力を録画出力に切り換えるためビデオ2設定を行ってください。(**123**ページ)

2 ① **BSを押し、BSデジタル放送(テレビ)を受信する**

② **チャンネルボタン3を押し、NHKハイビジョンを選局する**

3 **ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする**

外部入力　録 画

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタル放送の予約録画について

- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約録画する前に、必ず、試し録りをして、正しく録画されることを確認してください。
  このとき、予約録画の方法A、予約録画の方法Bでうまくいかないときには、予約録画の方法Cを行ってください。

デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する（つづき）

デジタル固定の設定

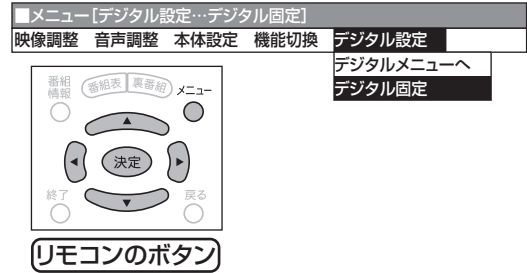
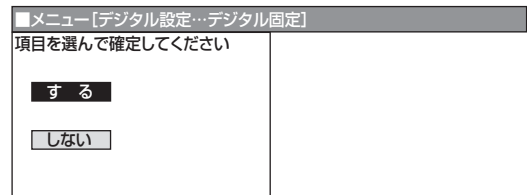
■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。

操作の前に

こんなときに便利です

- デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
- デジタル放送の番組を録画しながら地上アナログ放送のチャンネルの裏番組を視聴したり、ビデオ機器の再生映像を楽しんだりすることができます。
- リモコンで電源を「切」（電源待機状態）にしても、録画出力からデジタル放送の映像・音声が出力されるので、録画を続けることができます。

1 **固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する**

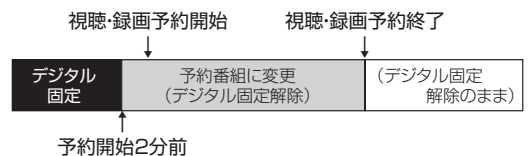
2 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタル固定」を選び、決定を押す**

3 **で「する」を選び、決定を押す**

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

- デジタル固定時は、デジタル放送関連の操作（デジタル放送の選局、メニュー・番組情報・番組表の表示等）ができません。
- デジタル固定中に視聴・録画予約時間の2分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

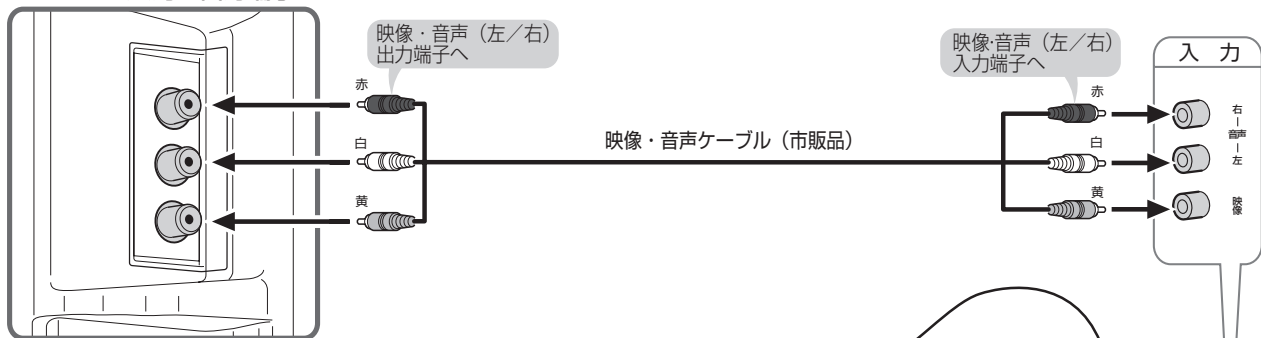
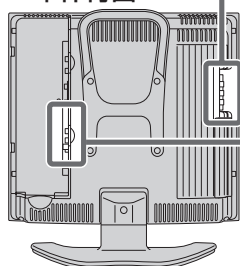
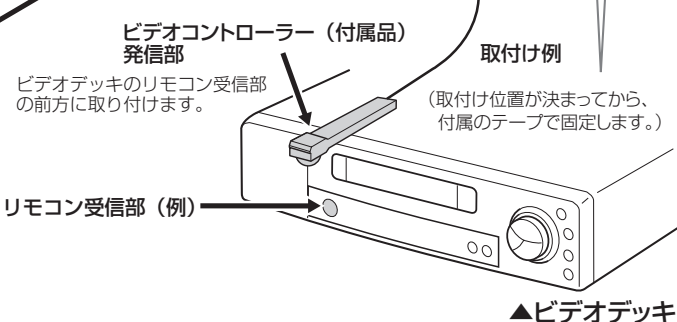
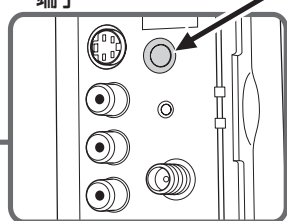
- 予約録画実行中は、デジタル固定にできません。

デジタル放送をビデオデッキで録画する場合

- 「デジタル固定」または「ビデオ連動録画」（**120**ページ）で録画することをおすすめします。このときは、ビデオ2設定を「録画出力」に設定してください。（**123**ページ）

ビデオコントローラーを使用する場合（予約録画の方法A の場合）の接続

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動してデジタル放送の番組を録画（ビデオ連動録画）することができます。
この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

（ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます）

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
N E C	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東　芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日　立	1, 2, 3
フナイ	1
松　下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三　菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：未設定

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**120**～**121**ページ「ビデオ連動録画設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

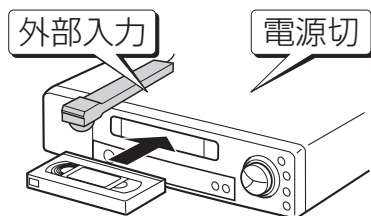
デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する（つづき）

ビデオコントローラーを使うための設定をする

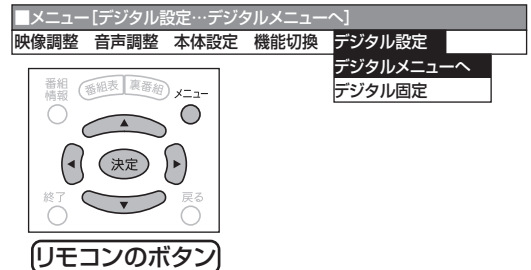
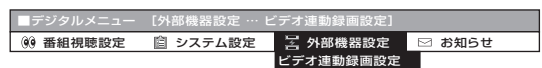
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみです。（ただし接続している機器を変更したときは、再度設定が必要です。）
- ビデオ連動録画できるのは、デジタル放送のみです。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

操作の前に

- **録画出力信号について**
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。（この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。）
- **ビデオデッキの準備について**
  ビデオデッキ側は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画しますので、外部入力チャンネルに切り換えた上で電源を「切」にして待機してください。
  他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると外部チャンネルが変更されてしまい、他のチャンネルが録画されます。

1 **ビデオデッキの準備をする**
① 本機につなぐ（119ページ参照）
② ビデオコントローラーを取り付ける（119ページ参照）
③ 外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ ビデオのリモコンで電源を「切」にする

2 **ビデオ2入力端子の設定を「録画出力」に切り換える（123ページ参照）**

3 **メニュー画面から「デジタル設定」―「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す**

リモコンのボタン

4 **デジタルメニュー画面で「外部機器設定」―「ビデオ連動録画設定」を選び決定を押す**

5 **① ビデオコントローラーの接続を確認する**
② 「次へ」で決定を押す

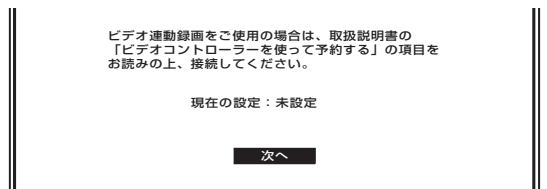
ビデオ連動録画をご使用の場合は、取扱説明書の
「ビデオコントローラーを使って予約する」の項目を
お読みの上、接続してください。

現在の設定：未設定

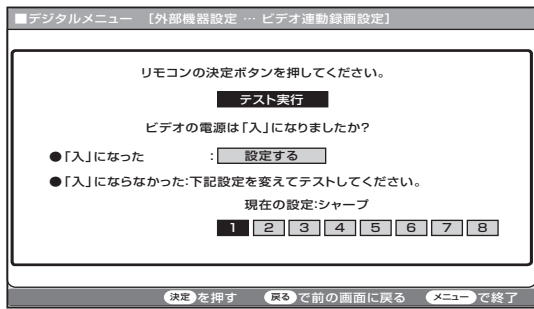
次へ

6 **お使いのビデオデッキのメーカーを（▲▼◀▶）で選び、決定を押す**

ビデオのメーカーを選択してください。

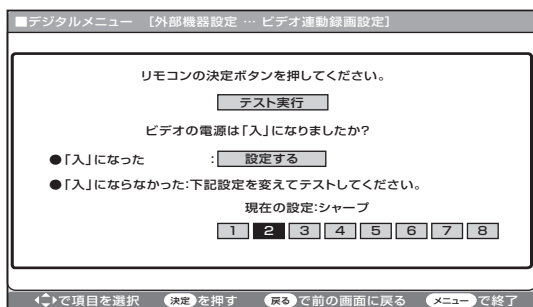
シャープ	アイワ	NEC	サンヨー
ソニー	東芝	ビクター	日立
フナイ	松下	三菱	パイオニア

- 該当するビデオメーカーがない場合や外部自動録画機能（シンクロ予約機能）を使用して録画する場合、「シャープ」を選択してください。

⇨ 予約録画の方法 B または 予約録画の方法 C に進みます。

7 「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき（正常）
  ⇨手順**10**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**8**に進みます。

8 ① ▲▼でカーソルを機種番号の欄に移動する
② ◀▶でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

- **119**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**8**・**9**をくり返してください。

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**8**・**9**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

9 決定を押し、テストを実行する

- テストの結果、該当する機種番号がない場合は「1」を選択し、手順**10**の②に進みます。（ビデオデッキの電源が入らなくてもかまいません。）ビデオコントローラーを外し、ビデオ連動予約を行う際はビデオデッキにもタイマー予約を設定してください。

10 ① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する
② 「設定する」で決定を押す

- これでビデオ連動録画の設定は完了です。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

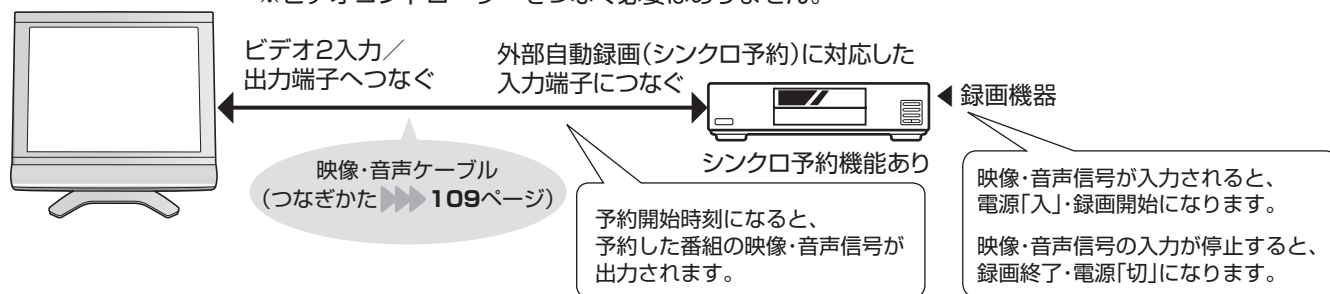
- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、**98**～**104**ページをご覧ください。

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- **ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、再設定の必要はありません。**

デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する(つづき)

外部自動録画(シンクロ予約)機能を使用する場合(予約録画の方法 B)の接続

■ お持ちの録画機器に外部自動録画機能(シンクロ予約機能)が付いている場合、ビデオコントローラーをつながずに予約録画することができます。
■ シンクロ予約とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。(詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。)

接続のしかた

設定が終了したら、本機の電源を「切」にします。(リモコンで切ります。)そして録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで録画機器の電源を「切」にします。
- 予約開始時刻になると、本機のビデオ2入力／出力端子から映像と音声が外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応した入力端子へ出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、ビデオ2入力／出力端子を「録画出力」に設定してください。(**123**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**98**ページをご覧ください。

録画機器がビデオコントローラー・外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない場合(予約録画の方法 C)の接続

■ お持ちの録画機器がビデオコントローラーおよび外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していないなど、 予約録画の方法 A ・ 予約録画の方法 B が使えない場合でも、本機側と合わせて録画機器側でも日時やチャンネルを予約設定しておけば録画が可能になります。

設定が終了したら、本機の電源を「切」にします。(リモコンで切ります。)そして録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付・時刻に設定し、予約するチャンネルは外部入力に設定します。
- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像・音声がビデオ2入力／出力端子から出力されます。同時に、録画機器側で行った設定により、録画機器側の予約録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、ビデオ2入力／出力端子を「録画出力」に設定してください。(**123**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**98**ページをご覧ください。

他の機器を使って録画するための設定

ビデオ2入力を録画用または入力用に設定する

■ 本機背面のビデオ2入力／出力端子は、録画用と入力用に使い分けることができます。

操作の前に

- **録画出力**
  デジタル放送を録画するときに選びます。
- **モニター出力／音声固定**
  音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。
- **モニター出力／音声可変**
  スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

ビデオやDVDを見るときの設定

- **ビデオ2入力**（工場出荷時の設定）
  ビデオ再生機器をつなぐなど、入力端子として使うときに選びます。

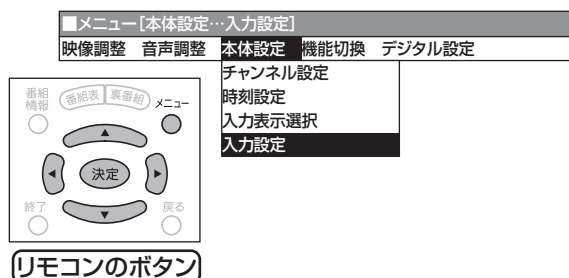
•モニター出力／録画出力される映像信号について

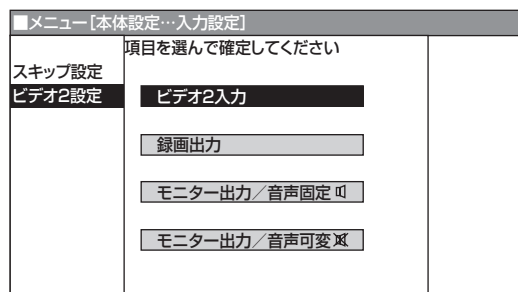
	モニター出力	録画出力
地上アナログ放送	○	×
デジタル放送	○	○
ビデオ入力	○	×
コンポーネント入力	×	×
S2入力（ビデオ1）	×	×

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「入力設定」を選び、決定を押す

リモコンのボタン

2 ▲▼で「ビデオ2設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「ビデオ2入力」「録画出力」「モニター出力／音声固定」「モニター出力／音声可変」のいずれかを選び、決定を押す

- 「モニター出力／音声可変」に設定すると、音量を調整したとき、次のような音量表示が画面に表示されます。

おしらせ

- 録画をするビデオデッキの入力切換えや操作方法など、詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- デジタル放送を録画するときは「デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する」（**116**ページ）をご覧ください。
- テレビチャンネルを切り換えると、ビデオ２入力／出力端子から出力される映像も変わってしまいます。
- オンタイマー（**146**ページ）のチャンネル設定を「ビデオ 2」にしたときは、「ビデオ 2」の設定はできません。

外部機器のなまえを表示させる

■ コンポーネントビデオ入力やビデオ1入力、ビデオ2入力に接続している外部機器に合わせて、表示される機器の名称を選択することができます。

表示できる名称について

コンポーネントビデオ入力

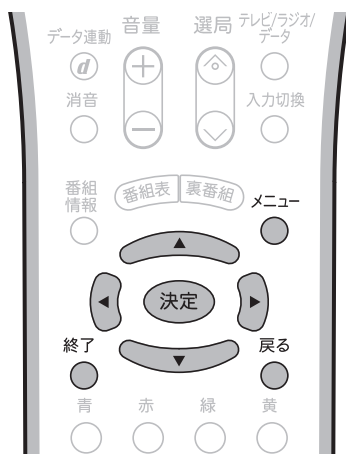
コンポーネント	HDD
D端子	BD
DVD	CATV
ビデオ	ゲーム

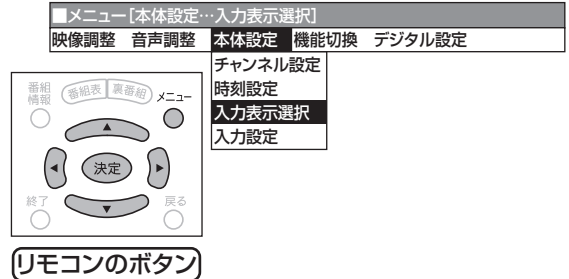
ビデオ1入力

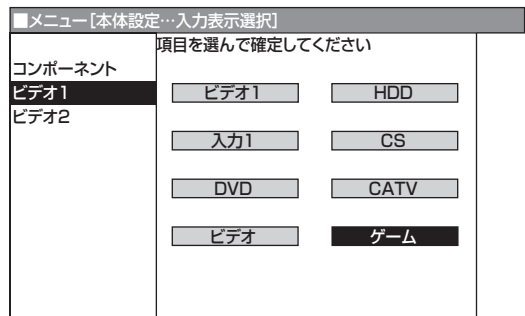
ビデオ1	HDD
入力1	CS
DVD	CATV
ビデオ	ゲーム

ビデオ2入力

ビデオ2	HDD
入力2	CS
DVD	CATV
ビデオ	ゲーム

ゲーム機との接続について
- 光線銃などを使い、画面を標的にするゲームは使用できません。

[例] ビデオ1の表示を「ゲーム」に変える

1 メニュー画面から「本体設定」ー「入力表示選択」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「ビデオ1」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「ゲーム」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

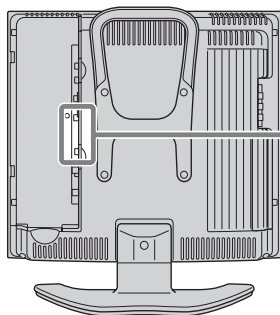
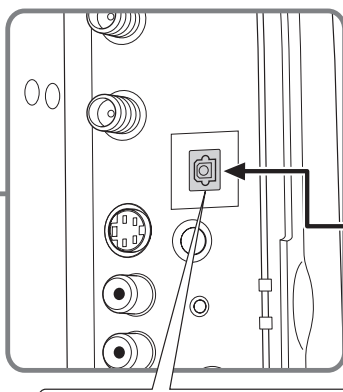
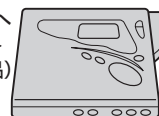
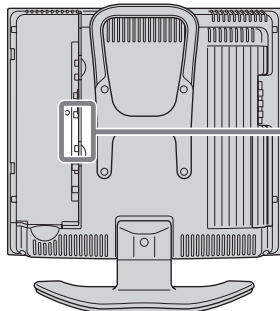
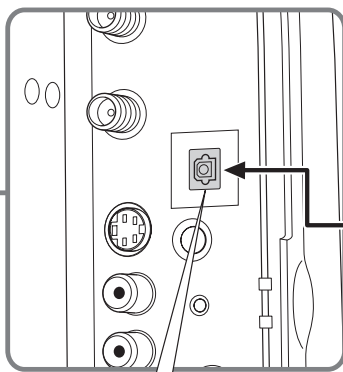
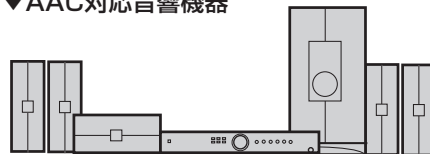
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

音響機器をつないで音声を楽しむ

デジタル音声(光)の音響機器を接続する

■ デジタル音声ケーブルを使って､｢デジタル音声入力(光)端子｣のある音響機器と接続すると、デジタル放送の音声を高音質で録音できます。

録音するとき

■ また､本機のデジタル放送音声出力(光)端子は､MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます｡AAC対応の音響機器を接続すると､サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

サラウンド音声を楽しむとき

- 詳しくは､接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では､常にデジタル放送の音声がデジタル放送音声(光)端子から出力されます。
- デジタル音声設定を｢AAC｣にしているとき､字幕放送やデータ放送の一部の音声は､本機のデジタル放送音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音･録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は､デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは､個人として楽しむなどのほかは著作権法上､権利者に無断で使用できません。

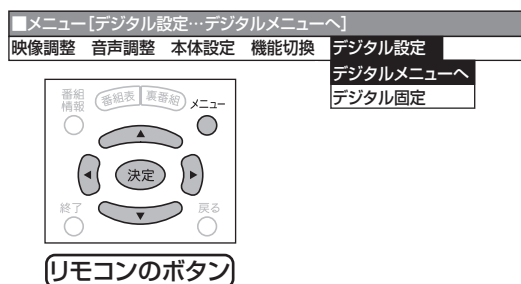
音響機器をつないで音声を楽しむ(つづき)

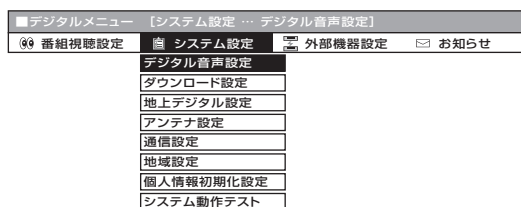
デジタル放送音声出力(光)端子の設定について

■ 本体背面のデジタル放送音声出力(光)端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

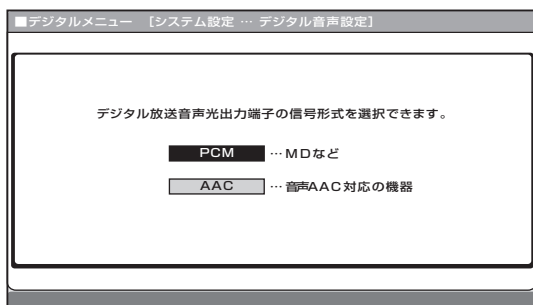
- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- デジタル放送音声出力(光)端子からは、デジタル放送音声以外は出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す**

リモコンのボタン

2 ① ◀決定▶ **で「システム設定」を選ぶ**

② ▲決定▼ **で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す**

3 **接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を ▲決定▼ で選び、決定を押す**

「PCM」…… 音声AACに対応していない音響機器(例. MDレコーダー、MDコンポなど)に接続するとき

「AAC」…… 音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

アナログ音声の音響機器を接続する

■ 本体背面のビデオ2入力／出力端子(「モニター出力(音声固定または音声可変)」に設定時)に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ビデオ2入力／出力の音声端子(「モニター出力」に設定時)から出力される音声の出力レベルを「音声固定」にするか「音声可変」にするか選択することができます。操作のしかたなど、詳しくは**123**ページをご覧ください。

画面や映像・音声の調整

画面サイズを設定する前に

画面サイズについて

画面サイズの設定には手動と自動があります。
- 手動で選ぶ→画面サイズボタンで切り換えます。
- 自動設定→自動判別機能で設定します。

■ 手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの4つの画面サイズから選択できます。

画面サイズ	機　能
自動判別	スクイーズ映像(16:9の映像をあらかじめ縦長に圧縮して記録された映像)を自動的に16:9で表示します。4:3の映像は4:3で表示します。 この設定は、デジタル放送の映像または、D3映像入力端子やS2映像入力端子に接続された映像を表示しているときに有効です。 ※工場出荷時は「自動判別」に設定されています。
4:3	元の映像をそのまま4:3サイズで表示します。
16:9	元の映像の上下を圧縮し16:9サイズで表示します。
拡大	元の映像を上下左右に引き伸ばし、中央部を表示します。

元の画像	4:3	16:9	拡大
縦長の映像の場合			※16：9で表示されていた場合
左右に帯が入った縦長の映像の場合			※16：9で表示されていた場合
4：3の映像の場合			※4：3で表示されていた場合

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「4:3」にしてください。
- オリジナル映像のサイズ(シネスコサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換え機能(画面サイズ検出機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 手動で他のサイズを選んだ場合でも入力切換や、入力信号／放送が変わったときは、自動的に最適なモードに戻ることがあります。
- コンポーネントビデオ入力端子に接続している機器がRCAピンプラグのときは、自動設定にしても画面サイズを自動判別できません。このときは、手動で「16:9」または「4:3」を選んでください。

画面サイズを設定する

画面サイズを手動で設定する

■ 本機はリモコンで画面を拡大することができます。また、メニューから画面サイズを選べます。

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- 縦横比が16:9の映像でない従来の4:3の映像を画面サイズ「16:9」に設定してご覧になると、画面が変形して見えます。
- 手動で他のサイズを選んだ場合でも入力切換や、入力信号／放送が変わったときは、自動的に最適なモードに戻ることがあります。その場合は、再度、手動で設定変更してください。

リモコンで画面を拡大する

1 画面サイズ を押す

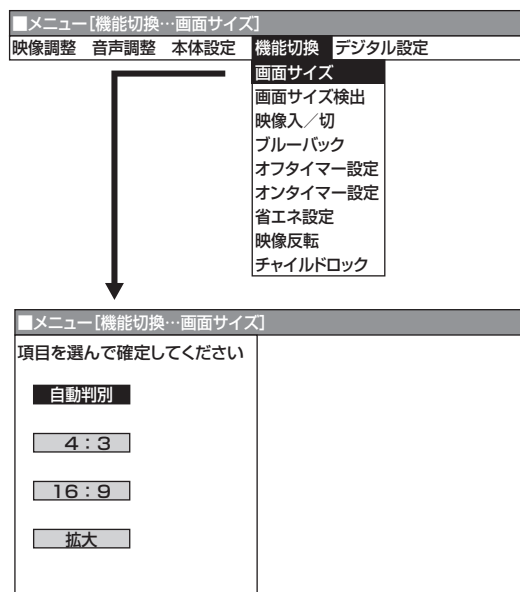
- 画面拡大されます。

画面サイズ ［拡大］

2 もとの大きさに戻すときは、もう一度 画面サイズ を押す

メニューで画面サイズを切り換える

1 メニュー画面から「機能切換」ー「画面サイズ」を選び、決定 を押す

2 ▲▼◀▶ で設定したい画面サイズを選び、決定 を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

自動的に最適な画面サイズに設定する(画面サイズ検出機能)

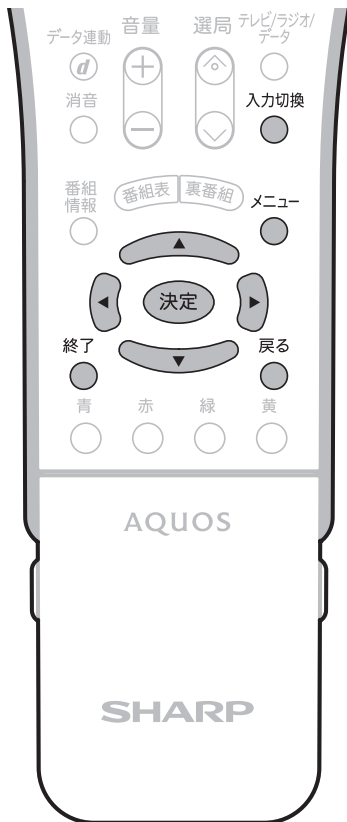
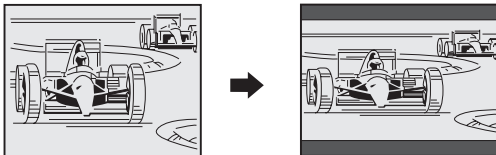
■ 画面サイズ検出とは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。

■ 画面サイズ検出機能には3つの項目があります。詳しくはつぎのページをご覧ください。各項目はメニューの操作で設定します。

画面サイズ検出機能を働かせたときの画面表示例

スクイーズ映像

・D端子 ・S端子

➡

1 **「S端子」を設定する場合は**

入力切換を押し、S映像ケーブルを接続している入力(ビデオ1)を選びます。

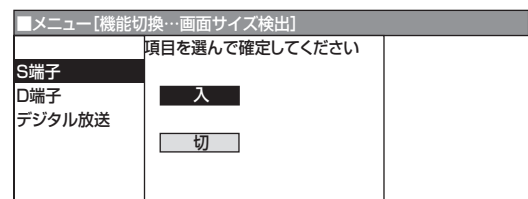
「D端子」を設定する場合は

入力切換を押し、D端子ケーブルを接続している入力(コンポーネント)を選びます。

2 **メニュー画面から「機能切換」ー「画面サイズ検出」を選び、決定を押す**

3 ① **▲▼◀▶で設定したい項目を選び、決定を押す**

② **▲▼◀▶で「入」または「切」を選び、決定を押す**

(「S端子」を設定する場合)

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

S端子

■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

- S端子を「入」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

D端子

■ D3端子の画面サイズ制御信号により、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

デジタル放送

■ デジタル放送から送られてくる情報をもとに、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。

画面サイズ検出機能が働かないようにするには

① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 左右カーソルボタンで「機能切換」を選ぶ。
③ 上下カーソルボタンで「画面サイズ検出」を選び、決定ボタンを押す。
④ 画面に表示されているすべての項目(「S端子」「D端子」「デジタル放送」)を「切」に設定する。
 • 詳しい操作方法については、**130**ページをご覧ください。
⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

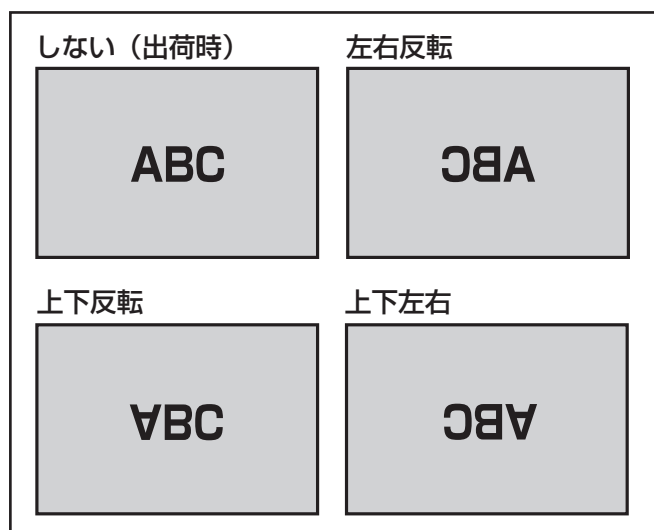
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD3映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによって画面サイズ検出機能が働かない場合があります。

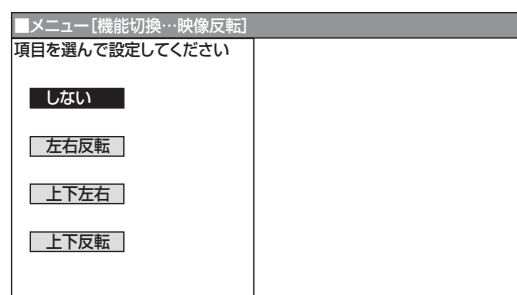
映像の向きを変える

映像の向きを変える（映像反転）

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
ゴルフの練習をする、ダンスの振り付けをおぼえるときなど、鏡を見ているように左右を反転させたり、天井に設置する場合に上下を反転させるなどの使いかたができます。

・工場出荷時は、「映像反転」は「しない」に設定されています。

映像反転の表示

1 **メニュー画面から「機能切換」ー「映像反転」を選び、（決定）を押す**

2 **（▲▼◀▶）で「しない」「左右反転」「上下左右」「上下反転」のいずれかを選び、（決定）を押す**

・「しない」を選んだときは、反転しません。
・「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。
・「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

操作終了する場合は

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

お好みの映像・音声で楽しむ

■ お好みの映像・音声を設定する方法には、次の2つがあります。
- 映像ポジションを選ぶ
- 映像・音声を個別の設定項目ごとに設定する

お好みの映像設定を選ぶ（映像ポジション）

映像ポジションとは

■ 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像調整に設定する機能です。

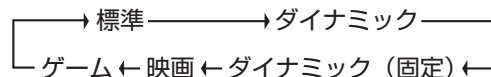
「標準」........................... 画質の設定がすべて標準値になります。（通常ご家庭でご覧になるときの設定です。）
「ダイナミック」........... くっきりと色鮮やかな映像で見るとき。（工場出荷時の設定です。）
「ダイナミック（固定）」... 明るい部屋で見るとき。（このポジションを選んだときは、映像調整ができません。）
「映画」........................... コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」....................... テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

1 映像ポジション **を押す**
- 設定されているモードが表示されます。

映像ポジション　[ダイナミック]

映像ポジション表示

2 **再び** **を押し、お好みの設定を選ぶ**
- ボタンを押すたびに、映像ポジションがつぎのように切り換わります。

→ 標準 → ダイナミック → ダイナミック（固定）→ 映画 → ゲーム →

おしらせ
- 映像ポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます。（例えば、テレビは「標準」、ビデオ1入力は「ダイナミック」....などの設定ができます。）
- 映像ポジションは、メニュー画面から「映像調整」－「映像ポジション」を選んで設定することもできます。

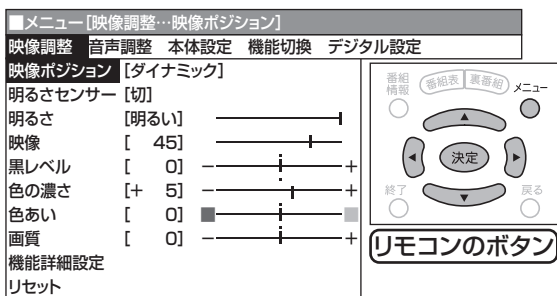
手動で映像を調整する

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。

■ 映像ポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させせることができます。映像調整は、さきに映像ポジションを選んでから行ってください。(**133**ページ参照)

■ 映像ポジション「ダイナミック(固定)」では、映像調整ができません。

1 メニュー画面から「映像調整」を選ぶ

2

① で調整したい項目を選ぶ

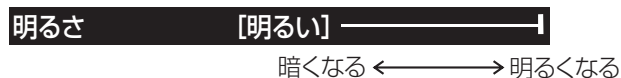
② でお好みの設定にする

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

明るさ

- 放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

映像

- 映像の強弱を手動調整することができます。

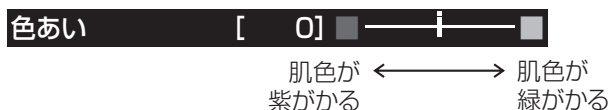
黒レベル

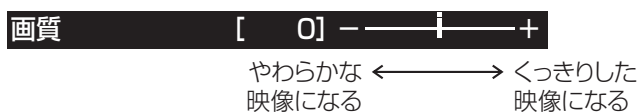
- 画面を見やすい明るさに手動調整することができます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを手動調整することができます。

色あい

- 肌色を手動調整することができます。

画質

- 画面をお好みの画質に手動調整することができます。

明るさセンサーを手動で設定する

■ 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。（明るさセンサー機能）

■ 放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

設定項目	設定内容
切（手動調整）	明るさの項目で17段階のお好みの調整ができます。
入：表示あり	周囲の明るさが変化すると明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。明るさセンサー: ※メニュー表示中は表示されません。
入：表示なし	画面の明るさが自動的に変化しますが、センサー効果は画面に表示されません。

・明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

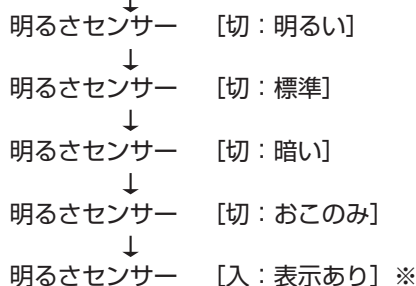
• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

1 **明るさセンサー を押す**

• 設定されているモードが表示されます。

2 **再び 明るさセンサー を押し、お好みの設定を選ぶ**

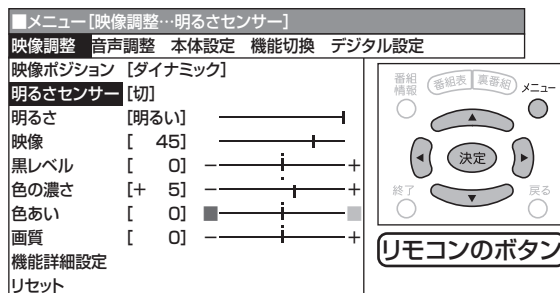
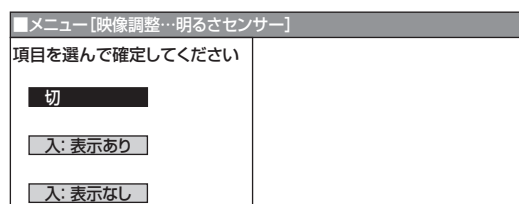
• ボタンを押すたびに、設定がつぎのように切り換わります。

明るさセンサー　[切：明るい]
↓
明るさセンサー　[切：標準]
↓
明るさセンサー　[切：暗い]
↓
明るさセンサー　[切：おこのみ]
↓
明るさセンサー　[入：表示あり]※

※メニューで［入:表示なし］に設定した場合は［入:表示なし］と表示されます。

■ メニュー画面で明るさセンサーの入／切を切り換えることもできます。

1 **メニュー画面から「映像調整」ー「明るさセンサー」を選び、決定 を押す**

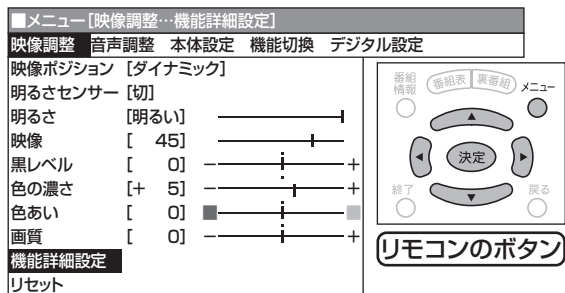
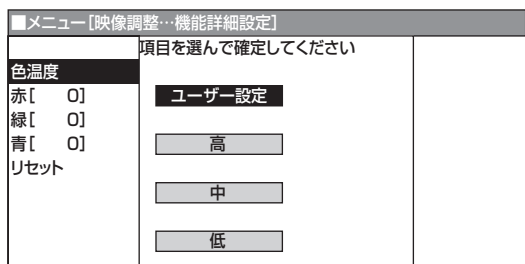
2 **で設定したい項目を選び、決定 を押す**

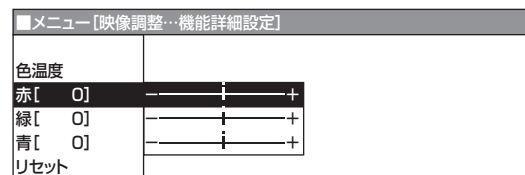
画面や映像・音声の調整

お好みの映像・音声で楽しむ（つづき）

画面をお好みの色温度に調整する

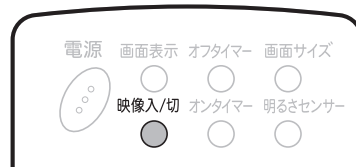
■画面全体を、自然な色味やお好みの色味に補正することができます。

- ●ユーザー設定　：赤・青・緑をお好みの色味に調整できます。
- ●高　：青みのかった寒色系の強い色味になります。
- ●中　：自然な色味になります。(白い画面では白く見える等。)
- ●低　：赤みのかった暖色系の強い色味になります。

1 メニュー画面から「映像調整」ー「機能詳細設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で項目を選び、決定を押す

[「ユーザー設定」を選んだ場合]

▲▼で「赤」「緑」「青」のいずれかを選び、◀▶で調整する

色温度の「高」、「中」または「低」を選んでいる場合、「赤」「緑」「青」は調整できません。

音声だけを楽しむ(映像入／切)

■ 映像を消して、音声だけを楽しむことができます。

1 映像入/切 を押す

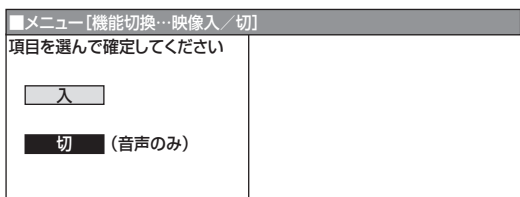
映像[切]にするには
もう一度「映像入／切」ボタンを押してください

2 再び 映像入/切 を押す

- 映像を再表示させるには、もう一度 映像入/切 を押してください。
- 音量調整、消音、音声切換以外の操作をしても、映像が再表示されます。

■ メニュー画面で映像入／切を切り換えることもできます。

1 メニュー画面から「機能切換」ー「映像入／切」を選び、決定を押す

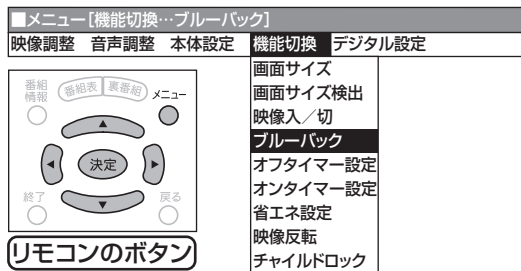
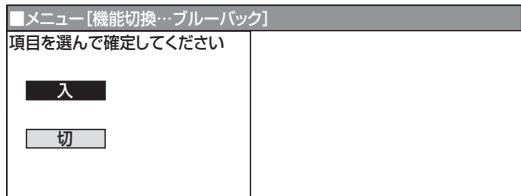
2 ▲▼で「切」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

無信号のときのノイズ画面を青色にする(ブルーバック)

■ 通常の状態では、放送終了や無信号状態になると、画面がノイズだけになり「ザー」という音声が流れます。
ブルーバックを「入」に設定しておくと、放送終了や無信号状態になると画面が青色に切り換わり消音状態になりますので、不快感が軽減されます。

1 メニュー画面から「機能切換」ー「ブルーバック」を選び、決定を押す

2 で「入」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

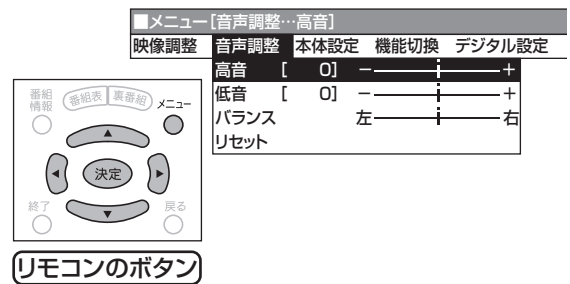
- チャンネル設定モードでは、ブルーバックは働きません。
- 放送が終っても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく機能しない場合があります。
- デジタル放送の信号に対しては働きません。

お好みの音声に調整する(音声調整)

音声調整の基本操作

1 メニュー画面から「音声調整」を選ぶ

2 ① で調整したい項目を選ぶ

② で、お好みの位置に調整する

• 続けて他の項目を調整したいときは、手順2をくり返します。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順2の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

音声調整の項目

• お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

高音 [0] −+

低音 [0] −+

• お好みに合わせて調整することができます。

バランス 左 右

• お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

• 「入力設定」の「ビデオ2設定」が「モニター出力／音声可変」に設定されているときは、音声調整ができません。

お好みの映像・音声で楽しむ（つづき）

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

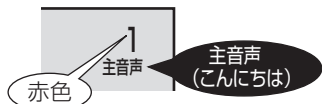
■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。
■ 二重音声放送やステレオ放送を受信すると、チャンネル表示の色が変わり、その下に「ステレオ」、「主音声」などの音声モードが表示されます。

チャンネル表示の色について

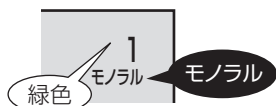
・二重音声放送やステレオ放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

（地上アナログ放送の場合）

▼画面表示

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

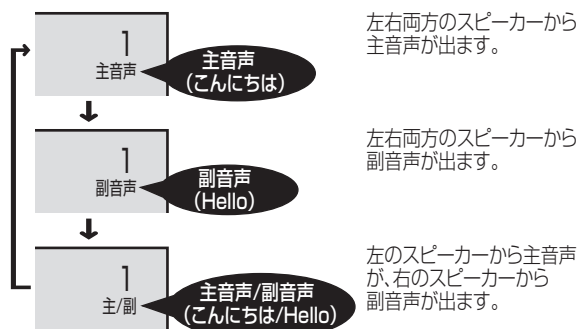
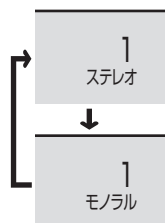
雑音が多くて聞きづらいときは、「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

モノラル放送のとき

主音声と副音声について

・ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の2種類の音声が楽しめます。

音声モードを切り換える

1 **音声切換 を押し、お好みの音声を選ぶ**

・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

ステレオ放送のとき

ステレオ放送の音声切換

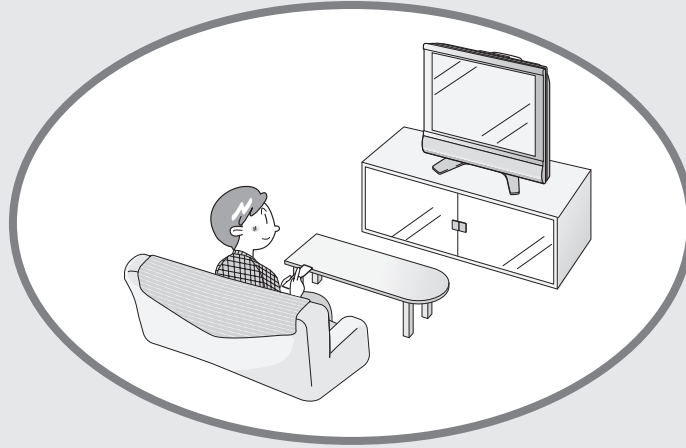
・ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

1 **雑音が多いときは、音声切換 で「モノラル」にする**

・画面右上に「モノラル」と表示されます。
・「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

・音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
・デジタル放送視聴時の音声切換については、**89**ページをご覧ください。

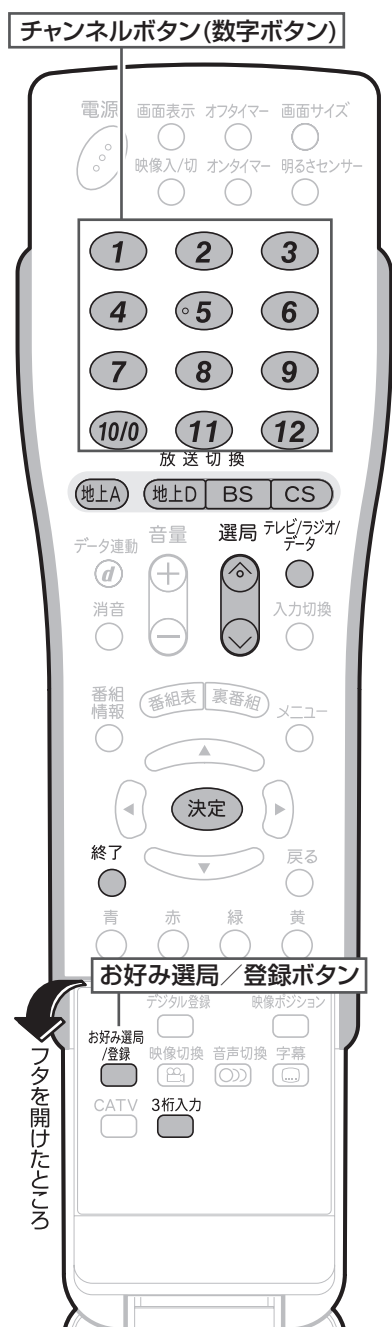
便利な機能

ページ

お好みのチャンネルを登録する

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)

■ よく見るチャンネルをお好み選局／登録画面に登録できます。

■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を混在させた登録ができます。

※ お好み選局／登録画面は、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

[例] BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好み選局／登録画面の「5」(チャンネルボタン 5)に登録する

1 ① BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を選ぶ

② 103チャンネルを選局する

2 ① お好み選局/登録 を押す

・お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

3 登録したいチャンネルボタン 5 (登録先のボタン)を押す

・上下左右カーソルボタンで登録したいチャンネルを選ぶこともできます。カーソルボタンで選んだときは、決定 を押します。

4 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

・お好み選局／登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面(「1」〜「12」)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

1 放送を視聴中に お好み選局/登録 を押す

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

・内容を確認します。

2 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

お好み登録を変更する

1 140ページ手順1〜4の操作を行い、お好み登録されているお好み選局／登録画面に新たなチャンネルを登録しなおす

お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する(お好み選局)

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。

■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

1 お好み選局/登録 を押す

・お好み選局／登録画面が表示されます。

2 見たいチャンネルボタン(1〜12)を押す

・選んだチャンネルの画面になります。

省エネ機能を使う

■ 本機は省エネに役立つつぎのような機能を備えています。

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

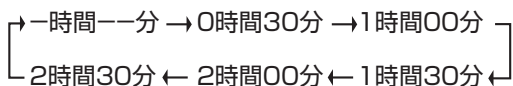
■「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

1 オフタイマー ◯ **を押す**

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「ー時間ーー分」と表示されます。

2 **オフタイマー表示が出ている間に再び** オフタイマー ◯ **を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ**

・ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→ー時間ーー分 → 0時間30分 → 1時間00分
2時間30分 ← 2時間00分 ← 1時間30分 ←

・オフタイマーは、メニューの「機能切換」ー「オフタイマー設定」でも設定できます。

オフタイマーの残り時間を見るには

1 オフタイマー ◯ **を押す**

・残り時間が表示されます。

オフタイマー　2時間15分

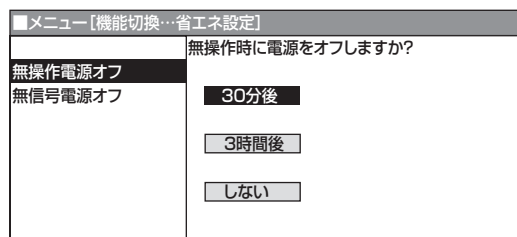
・しばらくすると表示が消えます。
・表示が出ている間に再びオフタイマーボタンを押すと、残り時間が変わってしまいます。
・オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面に表示されます。
・画面表示ボタンを押しても、オフタイマーの残り時間を知ることができます。

操作しない状態のときに電源を切る（無操作電源オフ）

■ 操作しない状態が一定の時間経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。
■ 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 **メニュー画面から「機能切換」ー「省エネ設定」を選び、** 決定 **を押す**

2 ① **で「無操作電源オフ」を選び、** 決定 **を押す**

② **で設定する時間を選び、** 決定 **を押す**

・電源が切れる5分前から画面に残り時間が表示されます。

操作終了する場合は

メニュー ◯ **または** 終了 ◯ **を押し、通常画面に戻す**

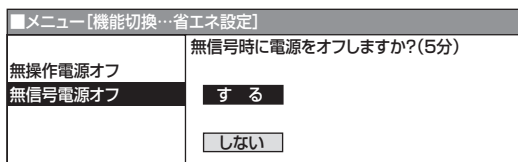
• 1つ前に戻る場合は 戻る ◯ を押してください。

放送終了後に電源を切る（無信号電源オフ）

■ 放送が終了するなど無信号状態になると、約5分後に電源が切れるようにします。
■ 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 **メニュー画面から「機能切換」ー「省エネ設定」を選び、決定を押す**

2 ① **で「無信号電源オフ」を選び、決定を押す**

② **で「する」を選び、決定を押す**

無信号電源オフ機能について

・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・デジタル放送、外部入力（コンポーネント、ビデオ）モードのときは、無信号電源オフは働きません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

指定時刻に電源を入れる（オンタイマー）

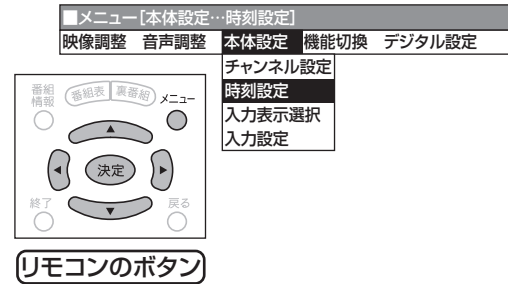
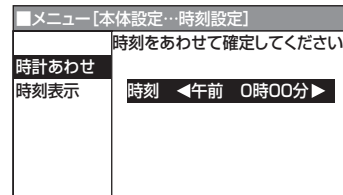
時刻設定について

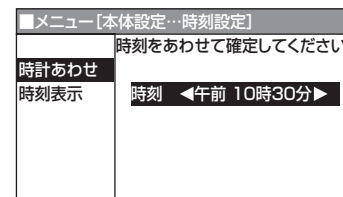
■ 本機は、現在時刻を表示する時計機能や、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を備えています。これらの機能を使うには、本機の内蔵時計が正しくあっていることが必要です。

■ **自動時刻設定機能について**
本機はBSデジタル放送などから時刻情報を取得し、内蔵時計を自動設定する機能を備えています。
BSデジタル放送などが受信できない状態にあるときなど、自動設定されていない場合は、右記の手順によりテレビメニュー画面で時刻設定することができます。

メニューから時刻を設定する

［例］ 午前10時30分にあわせる

1 メニュー画面から「本体設定」ー「時刻設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「時計あわせ」を選び、決定を押す

• 時刻が自動設定されている場合、「時計あわせ」は設定できません。

3 ◀▶で「午前10時30分」にあわせ、決定を押す

• 電話などの時報にあわせて、決定を押してください。

• 設定後、現在時刻を確認したいときは、画面表示を押してください。画面右下に現在時刻が表示されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

設定できる時刻の範囲

■ 12時間表示

午前11時59分→午後0時00分(昼の12時)
••• 午後11時00分 •••

午後11時59分→午前0時00分(夜の12時)
••• 午前11時00分 •••

■ 時刻設定

を押すごとに1分ずつ切り換わり、押し続けると10分単位で切り換わります。

を押すごとに(メニュー内の時刻表示)

午前0時50分→午前0時51分 •••→午前1時00分 •••
と切り換わります。

を押すごとに(メニュー内の時刻表示)

午前1時00分→午前0時59分 •••→午前0時50分 •••
と切り換わります。

時刻の表示を設定する

• リモコンの 画面表示 を押したときに画面右下に時刻表示が出ますが、この表示を出すか出さないかを設定することができます。

[例] 時刻表示しないとき

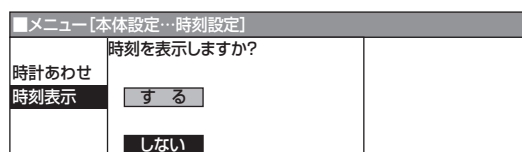
1 メニュー画面から「本体設定」ー「時刻設定」を選び、決定を押す

2 ① で「時刻表示」を選び、決定を押す

② で「しない」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

指定時刻に電源を入れる(オンタイマー)(つづき)

オンタイマーを設定する

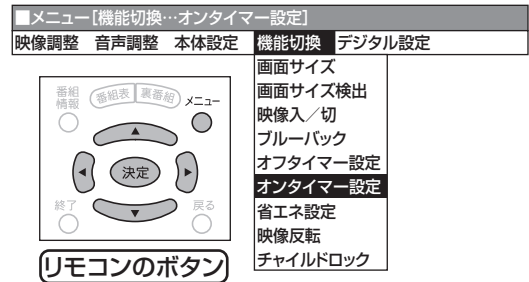
- オンタイマー設定の前に時刻設定をしてください。(**144**ページ参照)

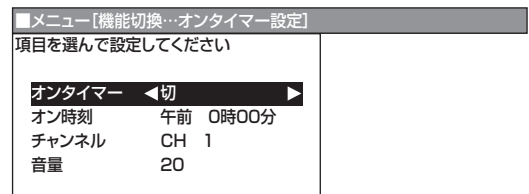
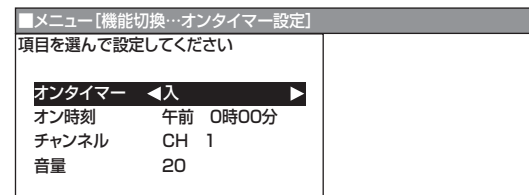
設定できる内容
- **オンタイマー設定**　入←→切
- **オン時刻**
  午前0時00分～午後11時59分
- **チャンネル**
  オンタイマー時のチャンネルを設定できます。
  設定範囲:CH1～CH20、C13～C63、コンポーネント、ビデオ1、ビデオ2、デジタル
- **音量**
  オンタイマー時の音量値を設定できます。
  設定範囲:　0～60
- リモコンの オンタイマー ◯ でオンタイマーの入/切を切り換えることができます。

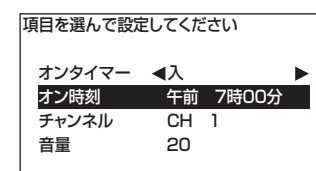
チャンネルを「デジタル」にしたときは
- 最後に視聴していたチャンネルが表示されます。
- オンタイマーを設定してから、自動的に電源が入るまでの間に、視聴予約や録画予約が実行されたときなどは、最後に視聴していたチャンネルにならない場合があります。

■ **設定できないチャンネルやビデオ入力について**
- チャンネル設定(または入力設定)でスキップが設定されているチャンネルおよび入力モードは設定できません。(お好み登録チャンネルは選べません。)
- 「入力設定」の「ビデオ2設定」を「ビデオ2入力」以外に設定しているときは、「ビデオ2」は選べません。

[例]　毎日朝7時に12チャンネル(リモコン番号)、音量10で電源を入れる

1 メニュー画面から「機能切換」ー「オンタイマー設定」を選び、(決定)を押す

- 時刻設定がされていない場合、「オンタイマー設定」を選び、決定ボタンを押した時点で時刻設定の画面が表示されます。時刻設定後、オンタイマー設定画面が表示されます。

2 (▲▼)で「オンタイマー」を選ぶ

3 (◀▶)で「入」を選ぶ

4 ① (▲▼)で「オン時刻」を選ぶ

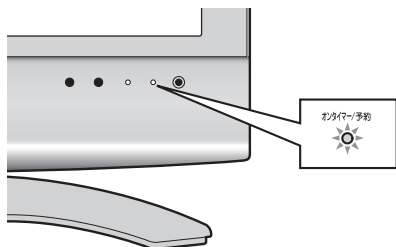
② (◀▶)でオン時刻を「午前7時00分」に設定する

5 ① で「チャンネル」を選ぶ

② でチャンネルを「CH12」に設定する

6 ① で「音量」を選ぶ

② で音量を「10」に設定する

7 設定終了後、メニュー または 終了 を押して終了する

- オンタイマーを設定すると、オンタイマーランプが赤色に点灯します。

8 必ずリモコンで電源を切る

- 本体の電源スイッチで電源を切ると、オンタイマーは働きません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

■ オンタイマーで外部入力(コンポーネント、ビデオ)を使用する場合には、あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、再生状態にしておいてください。外部入力機器が再生状態になっていなければ音は出ませんのでご注意ください。

■ **オンタイマーの解除について**
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源が入っては困る場合には、本体の電源スイッチで電源を切るか、リモコンでオンタイマーを解除してください。

■ **設定時間の確認**
- 画面表示で、現在設定されている時間を確認できます。

■ **繰り返しオンタイマーについて**
- 一度オンタイマーを「入」にすると「切」にするまで毎日繰り返しオンタイマーが働きます。
- リモコンのオンタイマーボタンでもオンタイマーの入／切を切り換えることができます。
- オンタイマーで電源が入ると自動的に2時間のオフタイマーが設定されます。
  2時間以上継続してご覧になるときは、本体の電源スイッチまたはリモコンの電源ボタンで電源を一度切り、オフタイマーを解除してください。

■ **視聴中のオンタイマー動作**
- 電源「入」のまま、オンタイマーで設定した時刻になると、設定したチャンネルに変わります。なお、このとき音量は変わりません。

オンタイマーを入／切する

■ リモコンのオンタイマーボタンでもオンタイマーの入／切を切り換えることができます。

1 オンタイマー を押す
- 設定されているモードが表示されます。

オンタイマー [しない]

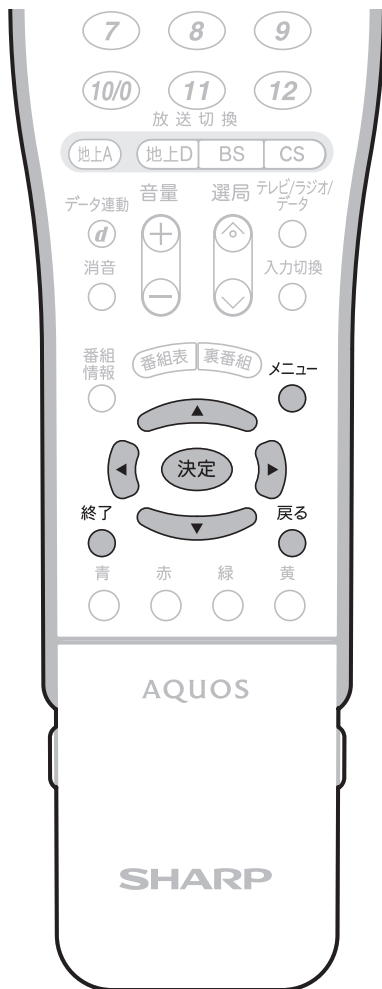
2 オンタイマー を押し、設定を切り換える
- ボタンを押すたびに、オンタイマーを「する」／「しない」が切り換わります。

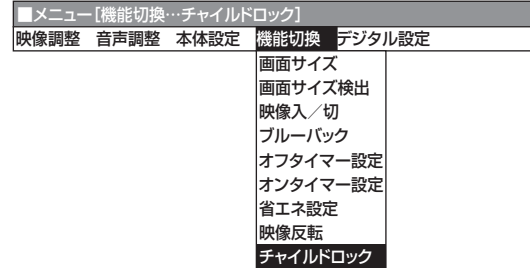
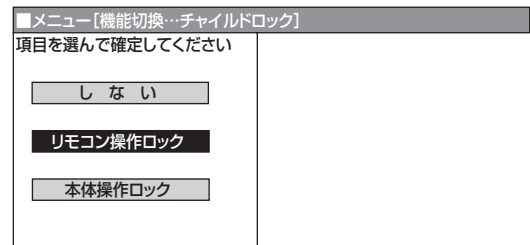
ボタンの操作を禁止する（チャイルドロック）

■ チャイルドロック機能について
お子様や他の人に、チャンネルや音量などを変えられたくない場合に役立つ機能です。チャイルドロックを設定すると以下の操作のどちらかをロックすることができます。

- **本体天面操作部の操作**
  ロック状態で、電源スイッチを除く本体天面操作部のボタンが使えなくなります。
- **リモコンボタンの操作**
  ロック状態で、すべてのリモコンボタンが使えなくなります。

■ 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

- 「本体操作ロック」「リモコン操作ロック」の2つの機能を同時に設定することはできません。
- 「本体操作ロック」「リモコン操作ロック」設定中に他の設定を行った場合は、次のような注意文が表示されます。
  例）リモコン操作ロック中のため操作できません（リモコン操作ロックの場合）

［例］ リモコンボタンによる操作をロックする

1 メニュー画面から「機能切換」ー「チャイルドロック」を選び、決定を押す

2 ▲▼◀▶で「リモコン操作ロック」を選び、決定を押す

ロックを解除する

- 本体天面操作部のボタン、リモコンボタンのうちロックが設定されていないほうのメニューボタンを押し、手順**1**を実行し、手順**2**で「しない」を設定してロック機能を解除します。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

デジタル放送を快適に見るための設定

ページ

画面表示の設定

共通操作

■メニュー[デジタル設定…デジタルメニューへ]

映像調整	音声調整	本体設定	機能切換	デジタル設定
				デジタルメニューへ
				デジタル固定

リモコンのボタン

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す**

・デジタルメニュー画面が表示されます。

2 **で「番組視聴設定」を選ぶ**

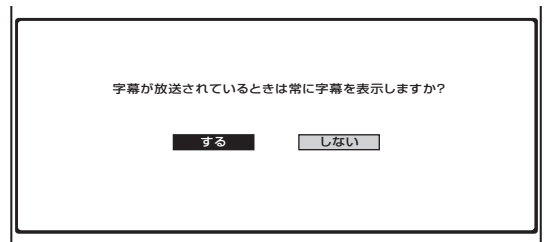
メニュー項目

字幕表示設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

  で「する」または「しない」を選び、決定を押す

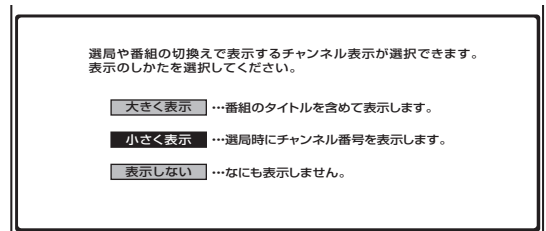
字幕が放送されているときは常に字幕を表示しますか?

する　しない

チャンネル表示設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

  で表示のしかたを選び、**を押す**

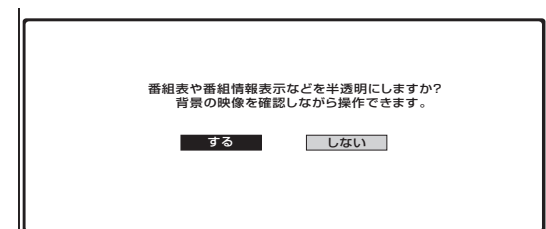
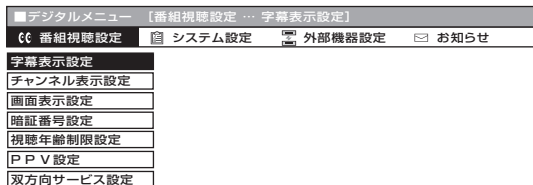
選局や番組の切換えで表示するチャンネル表示が選択できます。
表示のしかたを選択してください。

大きく表示 …番組のタイトルを含めて表示します。
小さく表示 …選局時にチャンネル番号を表示します。
表示しない …なにも表示しません。

画面表示設定

■ 背景の映像を見ながらメニュー操作などをしたいとき、デジタルメニューや電子番組表などを半透明で表示させることができます。

  で「する」または「しない」を選び、決定を押す

番組表や番組情報表示などを半透明にしますか?
背景の映像を確認しながら操作できます。

する　しない

で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

「する」…… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）

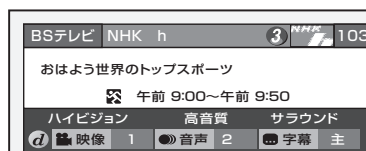
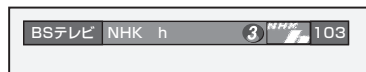
「しない」… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

字幕ボタンについて

- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、リモコン（フタ内）の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、リモコン（フタ内）の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

フタを開けたところ
青 赤 緑 黄
デジタル登録 映像ポジション
お好み選局/登録 映像切換 音声切換 字幕
CATV 3桁入力

「大きく表示」…番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

（表示例）

「小さく表示」 …チャンネル番号だけを表示します。

「表示しない」 …何も表示しません。（ビデオ連動予約時に、チャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

「する」…… デジタルメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

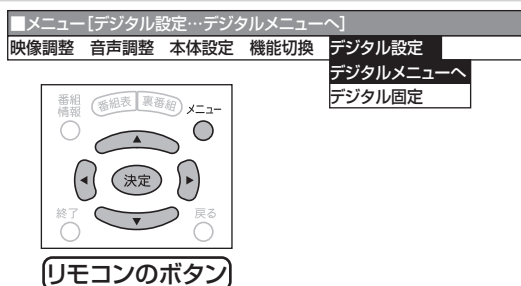
「しない」… 半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

安心して使うための設定

共通操作

■メニュー［デジタル設定…デジタルメニューへ］

映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定

リモコンのボタン

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選び、（決定）を押す**

2 **（◀▶）で「番組視聴設定」を選び、（▲▼）で設定したいメニュー項目を選んで、（決定）を押す**

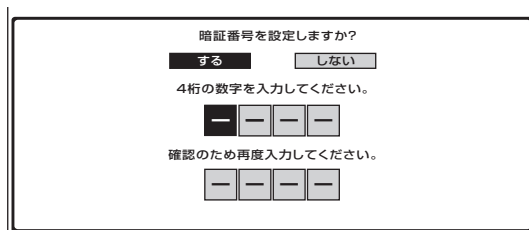
メニュー項目

暗証番号設定

■ 本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

• 暗証番号は必ずメモしてください。

3 ① **（◀▶）で「する」を選び、（決定）を押す**

② **数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する**

視聴年齢制限設定

■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

3 **数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する**

暗証番号を入力してください。

• 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

PPV設定

有料番組の購入を制限する

■ 暗証番号を入力しないとPPV番組（有料番組）を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

3 **数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する**

暗証番号を入力してください。

• PPV設定画面が表示されます。

有料番組の購入金額を制限する

■ PPV番組（有料番組）の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

3 **数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する**

暗証番号を入力してください。

• PPV設定画面が表示されます。

暗証番号を変更するとき

① メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選ぶ

② デジタルメニュー画面から「番組視聴設定」→「暗証番号設定」を選ぶ

- 暗証番号入力画面が表示されます。

③ 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

- 暗証番号を入力すると、**152**ページ「**暗証番号設定**」の手順**3**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2004年12月現在）

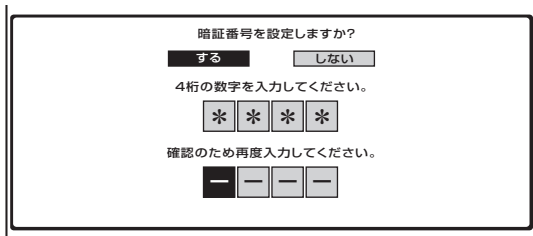
操作終了する場合は

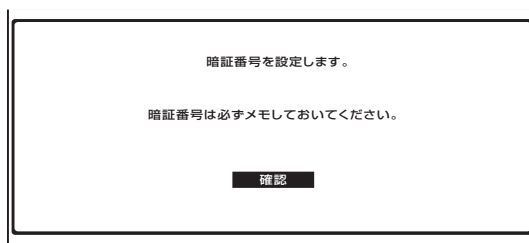
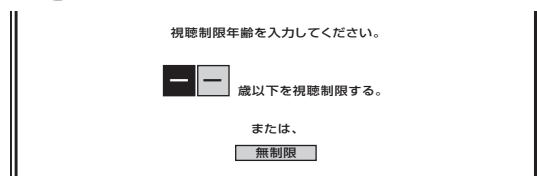
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

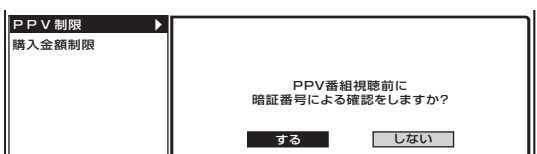
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

設定画面

確認のため、再度同じ番号を数字ボタン（1～10/0）で入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順**3**の②からやりなおしになります。

① 暗証番号をメモする

② 「確認」で 決定 を押す

 で年齢の入力欄を選ぶ

制限する年齢を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す

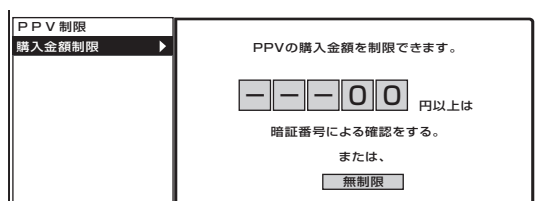
- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

 で「PPV制限」を選び、決定 を押す

 で「する」または「しない」を選び、

 決定 を押す

「する」……　PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。

「しない」…　PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

 で「購入金額制限」を選び、決定 を押す

① **で購入金額の入力欄を選ぶ**

② 購入金額の上限を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す

- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

お知らせを見る

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

お知らせを見るための基本操作

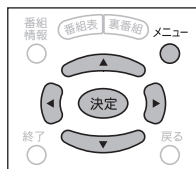
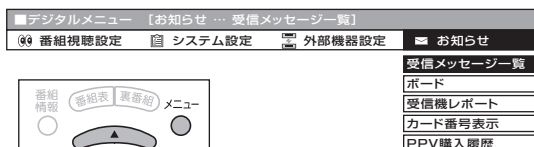
1 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② 「デジタル設定」－「デジタルメニューへ」を選び、決定 を押す

- デジタルメニュー画面が表示されます。

2 ① で「お知らせ」を選ぶ

■デジタルメニュー　[お知らせ … 受信メッセージ一覧]
番組視聴設定　システム設定　外部機器設定　お知らせ

受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
カード番号表示
PPV購入履歴

リモコンのボタン

② で見たい項目を選び、決定 を押す

- 項目によっては、この後ネットワークを選ぶ手順になります。

3 見たい情報を で選び、 を押す

[例]「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

受信日時
未読　ダウンロード成功のお知らせ
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●
未読　2/26[月] ●●●●●●●

4 ① 情報の内容を確認する

② ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを

 で選び、決定 を押す

- 画面表示に従って操作してください。

お知らせの項目

項　目	内　容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。 アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。
カード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 **カード識別**… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 **カードID**…… カード固有の番号です。
PPV購入履歴	購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

読んでいない受信メッセージがあるとき

- デジタル放送を選局したときに「おしらせ」と表示されます。

BS101
テレビ
おしらせ

双方向通信を利用する

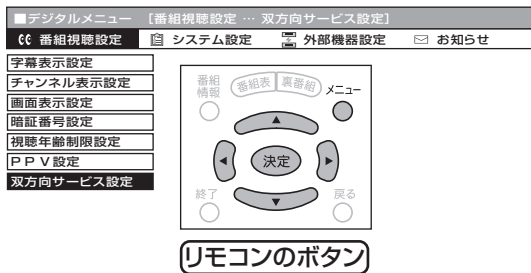
■ 双方向通信とは、地上デジタル放送の双方向サービスで利用される通信方式です。視聴者が番組上でショッピングしたり、クイズ番組に参加して楽しむことができます。
■ 双方向通信を利用するには、本機を電話回線に接続し、設定することが必要です。

※電話回線接続には電話料金がかかります。
［例］クイズ番組に参加して、答えを送信するとき

・ ADSL専用の契約（IP電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。

双方向サービスの利用を制限する

■ 双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線への接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**152**ページ）をしておくことが必要です。

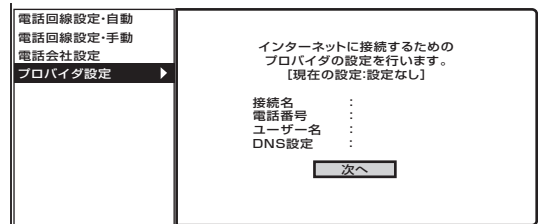
① メニュー画面から「デジタル設定」－「デジタルメニューへ」を選び、デジタルメニューから「番組視聴設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ

② 数字ボタンで暗証番号を入力し、以下の設定項目を選ぶ

する
しない

「しない」に設定した場合、回線使用時は画面右下にアイコンが表示されます。

プロバイダ設定

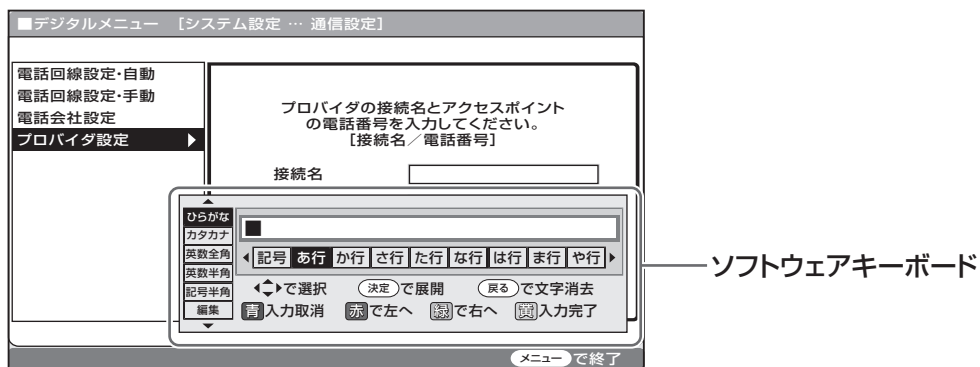
■ すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。
■ 文字や数字の入力欄で決定ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが表示されます。
（ソフトウェアキーボード→**156**ページ）

① メニュー画面から「デジタル設定」－「デジタルメニューへ」を選ぶ
② デジタルメニューから「システム設定」－「通信設定」－「プロバイダ設定」を選ぶ

③ 「接続名」「電話番号」「ユーザー名」「パスワード」「パスワード確認」を入力したあと、「自動設定」で「する」を選ぶ
④ 「自動設定」で「しない」を選んだときは「プライマリ」「セカンダリ」を入力する

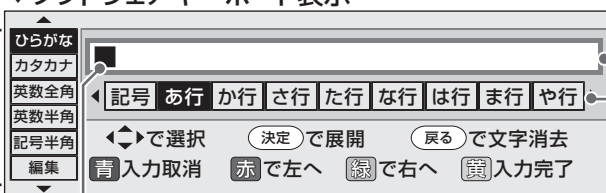
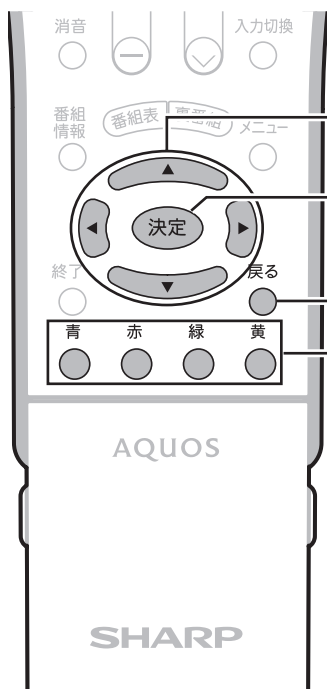
プロバイダ設定
「接続名」 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。 **「電話番号」** 契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。 **「ユーザー名」「パスワード」** プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
IPアドレス設定
プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。 IPアドレスはデータのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。 **「自動設定」** IPアドレスを自動で取得するかどうかを設定します。 **「プライマリ」** 1番めのIPアドレスを入力します。 **「セカンダリ」** 2番めのIPアドレスを入力します。
詳細な設定
「ヘッダ圧縮」「ソフトウェア圧縮」 通信速度を向上させるか、させないかの設定です。契約しているプロバイダがこれに対応してない場合は、「しない」に設定してください。 **「無通信切断タイマー」** 回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

■ プロバイダ設定（**155**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボード（文字入力画面）が表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）の使いかた

■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタン（青・赤・緑・黄）を使って操作します。

▼ソフトウェアキーボード表示

▼リモコン

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）操作に使うリモコンボタン

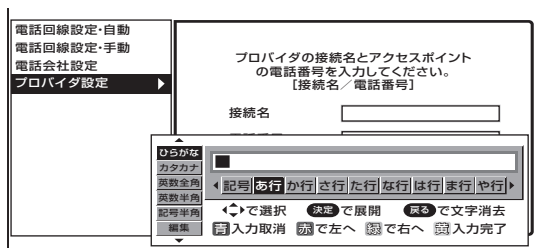
- **カーソルボタン**：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。
- **決定ボタン**：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。
- **戻るボタン**：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。
- **カラーボタン青**：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。
- **カラーボタン赤**：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。
- **カラーボタン緑**：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。
- **カラーボタン黄**：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ

- 文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの機能と同じです。

文字を入力する

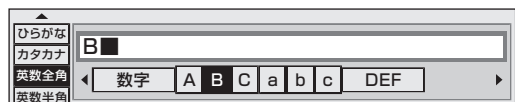
［例］ プロバイダ設定画面で文字入力をする

1 プロバイダ設定（155ページ）の入力欄で決定を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

2 ① で、文字モードを選ぶ

② で文字グループを選び、決定を押す

• 選んだ文字グループが展開されます。

3 で入力する文字を選び、決定を押す

• キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

• 続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。

4 黄を押し、入力を完了する

• プロバイダ設定画面の入力欄に、完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

おしらせ

・ 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
・ 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

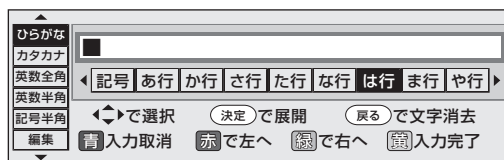
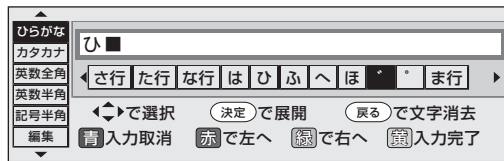
だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

［例］ 「び」を入力する

1 ① で文字モード「ひらがな」を選ぶ

② で「は行」を選び、決定を押す

2 で「ひ」を選び、決定を押す

3 で「゛」を選び、決定を押す

• 「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

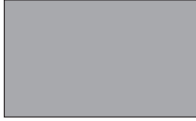
スペースを入力する

1 で文字グループから「空白」を選び、決定を押す

• 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

入力文字の種類

入力文字一覧表

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>ひらがな</td><td>
記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー (全角ハイフン)</td><td>あ行</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>か行</td><td>かきくけこ ゛</td></tr>
<tr><td>さ行</td><td>さしすせそ ゛</td><td>た行</td><td>たちつてとっ ゛</td><td>な行</td><td>なにぬねの</td></tr>
<tr><td>は行</td><td>はひふへほ ゛゜</td><td>ま行</td><td>まみむめも</td><td>や行</td><td>やゆよゃゅょ</td></tr>
<tr><td>ら行</td><td>らりるれろ</td><td>わ行</td><td>わをんゎ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>
記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー (全角ハイフン)</td><td>ア行</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>カ行</td><td>カキクケコ ゛</td></tr>
<tr><td>サ行</td><td>サシスセソ ゛</td><td>タ行</td><td>タチツテトッ ゛</td><td>ナ行</td><td>ナニヌネノ</td></tr>
<tr><td>ハ行</td><td>ハヒフヘホ ゛゜</td><td>マ行</td><td>マミムメモ</td><td>ヤ行</td><td>ヤユヨャュョ</td></tr>
<tr><td>ラ行</td><td>ラリルレロ</td><td>ワ行</td><td>ワヲンヮ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数全角</td><td>
数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>１２３４５６７８９０</td><td>ABC</td><td>ＡＢＣａｂｃ</td><td>DEF</td><td>ＤＥＦｄｅｆ</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>ＧＨＩｇｈｉ</td><td>JKL</td><td>ＪＫＬｊｋｌ</td><td>MNO</td><td>ＭＮＯｍｎｏ</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ</td><td>TUV</td><td>ＴＵＶｔｕｖ</td><td>WXYZ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（全角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数半角</td><td>
数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0</td><td>ABC</td><td>A B C a b c</td><td>DEF</td><td>D E F d e f</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>G H I g h i</td><td>JKL</td><td>J K L j k l</td><td>MNO</td><td>M N O m n o</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>P Q R S p q r s</td><td>TUV</td><td>T U V t u v</td><td>WXYZ</td><td>W X Y Z w x y z</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（半角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>
@ . , : ; _ - ¥ $%!? &#+* =/|￣ "' ^ ` () <> [ ] { } 空白
<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>; _ - ¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$ % ! ?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>" ' ^ `</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>( )<></td><td>( ) < ></td><td>[ ]{ }</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>編集</td><td>
入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去
※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。
</td></tr>
</table>

情報ページ

ページ

故障かな？と思ったら

■ つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**169**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	37 38 111
	リモコンが動作しない	・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 ・チャイルドロックを設定していませんか。	 23 148
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	22 22 20 112
	音声は出るが映像が出ない	・映像入／切が「切」になっていませんか。	136
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	134
	特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	62
	本体が作動しない 電源ボタンを除くすべてのボタンがきかない	・チャイルドロックを設定していませんか。	148
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	34~36
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
	映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	–
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	34~36 – –

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	•アンテナ電源が「切」になっていませんか。 •映像、音声のない放送ではありませんか。 •ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 •B-CASカードは正しく挿入されていますか。	74 – 111 66
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	•アンテナの向きがズレていませんか。 •アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 •アンテナの前方に障害物はありませんか。 •アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 75 – 34·36
	有料放送の視聴ができない	•B-CASカードは正しく挿入されていますか。 •有料放送を視聴するための契約はしていますか。 •電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	66 43·45 76·78
	110度CSデジタル放送が受信できない	•アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 •ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	36
	地上デジタル放送が受信できない	•お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 •地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 •アンテナ線は正しく接続されていますか。 •お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 •チャンネル設定は正しくされていますか。	– 35 34 67 69
	画面にノイズが出る	•VHF/UHFのアンテナケーブルがBS·110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	•契約していない有料放送ではありませんか。 •アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	43·45 75
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	•地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 •電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	94 –
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	•ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 •ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 •データ番組ではありませんか。	119 120 –
	番組の予約をしても受信できない	•契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
その他	メニュー画面の時計あわせが設定できない	•デジタル放送が受信できない状態になったとき、メニューでの時刻設定ができなくなることがあります。その場合は、一度電源の切／入をしてから、再度、時刻設定を行ってください。	–
	何もしないのに時刻表示が変わってしまう	•地上デジタルが未放送の地域で、地上デジタルのテスト放送を受信すると、時刻表示が変わるときがあります。その場合は、アンテナ入力（地上デジタル）端子からアンテナを外してください。	–

故障かな？と思ったら（つづき）

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

・画面の左下に「温度」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

・温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。
・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
・本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

正常に動作しないときは

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体天面の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて30分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき「ピシッ」と音がする

● 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
　性能その他に影響はありません。

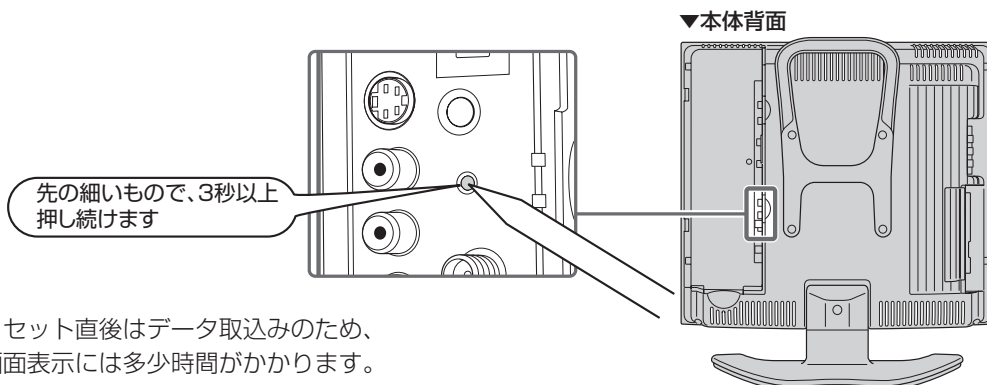
BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

● 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
● 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

リセットボタンについて

デジタルリセットボタン

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、本体背面のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

おしらせ

・リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入してください。	66
このカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	66
このカードは使用できません。 正しいカードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	66
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	34・36 74
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	34・36
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認の上、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	66・76
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、デジタルメニューの通信設定を正しく行ってください。	76・78
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

次ページへつづく

デジタル放送の注意文など（つづき）

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	C104	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	76･78
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	C105	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	76･78
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	C006	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	76･78
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を禁止「しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定で、電話回線への接続を禁止「しない」を選択してください。	155
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	****	プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	78･155
まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

■システムエラー発生時の注意文

注意文	内容・対処のしかた
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

ダウンロードを行う

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は自動で「する」に設定されています。

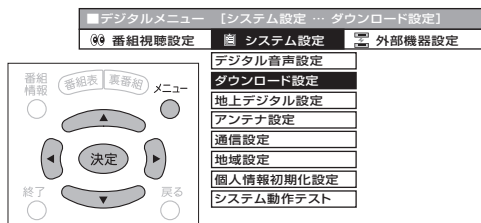
ダウンロードの可能な環境について

・ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合もダウンロードできません。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

• デジタルメニュー画面が表示されます。

2 デジタルメニュー画面で「システム設定」ー「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

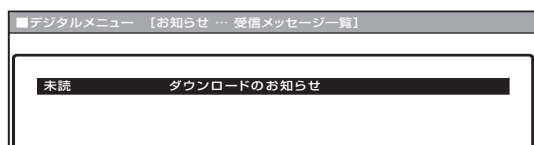
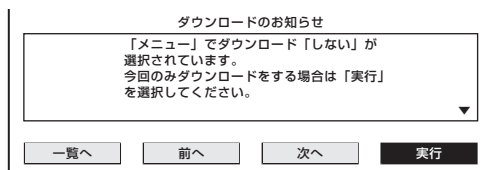
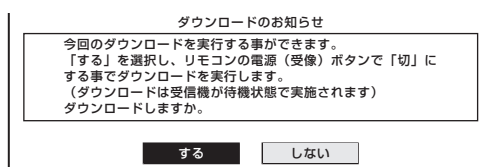
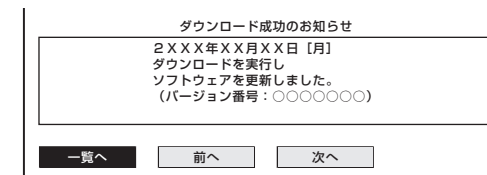
「する」……自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」…ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

手動でダウンロードを行うとき

・自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

① メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

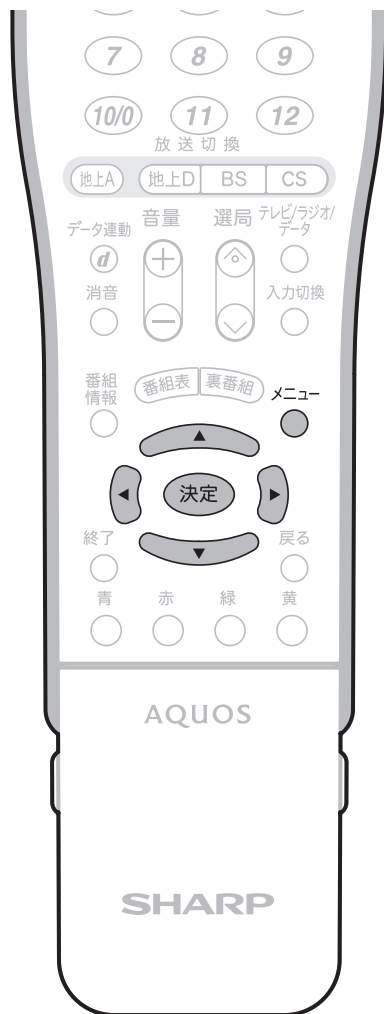
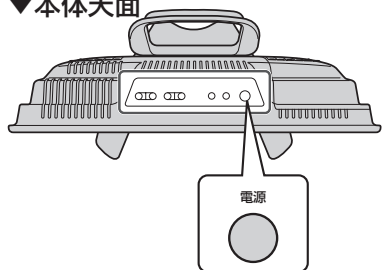
② デジタルメニュー画面で「お知らせ」ー「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

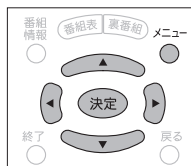
③ ▲▼で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

④ 画面の表示内容を確認してから、で「実行」を選び、決定を押す

⑤ 画面の表示内容を確認してから、◀▶で「する」を選び、決定を押す

• ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
• お知らせを見る場合は、**154**ページ「お知らせを見る」の操作を行ってください。

・ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
・ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
・ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
・**ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤に点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。**

本機を譲渡・廃棄するときは

個人情報の初期化について

■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

● お客さまが設定した情報内容（暗証番号など）がすべて初期化されます。

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 ① **メニュー画面から「デジタル設定」－「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す**
② **デジタルメニュー画面で「システム設定」－「個人情報初期化設定」を選び、決定を押す**

2 ◀▶ **で「する」を選び、決定を押す**

個人情報の消去を行いますか？
この機能は、本体を廃棄したり
他人へ譲渡するときに実行してください。

する　しない

3 ◀▶ **で「する」を選び、決定を押す**

個人情報を消去します。初期化するとデータ
放送などで再度情報の入力が必要になります。
また、ポイント情報なども消去されます。

する　しない

• 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

個人情報を消去しています。
初期化終了後、数秒間表示が消えますが、
そのままお待ちください。

初期化実行中

• 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 **本体天面操作部の 電源 を押し、電源を切る**

メニュー項目一覧

映像調整

項目	設定
映像ポジション	標準、ダイナミック、ダイナミック(固定)、映画、ゲーム
明るさセンサー	切、入:表示あり、入:表示なし
明るさ	暗い←→2~8←→標準←→10~16←→明るい
映像	0~60
黒レベル	−30~0~+30
色の濃さ	−30~0~+30
色あい	−30~0~+30
画質	−10~0~+10
機能詳細設定	→ 下記
リセット	する、しない

機能詳細設定 →

項目	設定
色温度	ユーザー設定、高、中、低
赤	−30~0~+30
緑	−30~0~+30
青	−30~0~+30
リセット	する、しない

音声調整

項目	設定
高音	−10~0~+10
低音	−10~0~+10
バランス	左~センター~右
リセット	する、しない

本体設定

- チャンネル設定 →
  - 自動：する、しない
  - 地域番号：「000」~「107」で実行
  - 個別
    - CH →
      - リモコン番号：1~20
      - 受信チャンネル：1~62、C13~C63
      - チャンネル表示：0~99、BS1、3、5、7、9、11、13、15、C13~C63
      - 受信微調整：−80~+80
      - スキップ：する、しない
    - CATV →
      - 受信チャンネル：C13~C63
      - 受信微調整：−80~+80
      - スキップ：する、しない
- 時刻設定 →
  - 時計あわせ：時刻　時　分
  - 時刻表示：する、しない
- 入力表示選択 →
  - コンポーネント：コンポーネント、D端子、DVD、ビデオ、HDD、BD、CATV、ゲーム
  - ビデオ1：ビデオ1、入力1、DVD、ビデオ、HDD、CS、CATV、ゲーム
  - ビデオ2：ビデオ2、入力2、DVD、ビデオ、HDD、CS、CATV、ゲーム
- 入力設定 →
  - スキップ設定 →
    - コンポーネント：する、しない
    - ビデオ1：する、しない
    - ビデオ2：する、しない
    - 地上アナログ：する、しない
    - 地上デジタル：する、しない
    - BSデジタル：する、しない
    - CSデジタル：する、しない
  - ビデオ2設定：ビデオ2入力、録画出力、モニター出力／音声固定、モニター出力／音声可変

機能切換

- 画面サイズ：自動判別、4:3、16:9、拡大
- 画面サイズ検出 →
  - S端子：入、切
  - D端子：入、切
  - デジタル放送：入、切
- 映像 入／切：入、切(音声のみ)
- ブルーバック：入、切
- オフタイマー設定：0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、しない
- オンタイマー設定 →
  - オンタイマー：切、入
  - オン時刻：オンタイマー時刻設定　時　分
  - チャンネル：CH1~CH20、C13~C63、コンポーネント、ビデオ1、ビデオ2、デジタル
  - 音量：0~60
- 省エネ設定 →
  - 無操作電源オフ：30分後、3時間後、しない
  - 無信号電源オフ：する、しない
- 映像反転 → しない、左右反転、上下左右、上下反転
- チャイルドロック → しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック

デジタル設定

- デジタルメニューへ ►(次ページ参照)
- デジタル固定：する、しない

• 設定条件により選択できない項目があります。

メニュー項目一覧（つづき）

■デジタルメニュー

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな？と思ったら」(**160**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　名：LC-13SX7　LC-15SX7
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

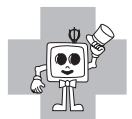
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ (熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は .... 修理相談センター へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は .... お客様相談センター へ

修 理 相 談 セ ン タ ー

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後６時　＊日曜・祝日：午前 10 時～午後５時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
（注）PHS・IP 電話からは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ PHS・IP 電話でのご利用は....................	（一般電話）	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAX を送信される場合は.........................	（ＦＡＸ）	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後５時 30 分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前９時～午後５時 30 分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条７丁目 3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前 4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	北区東田端 2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台 5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台 295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原 1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂 1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王 3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚 4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町 48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	尼崎市猪名寺 3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙 2-10-1

お 客 様 相 談 セ ン タ ー

0120 - 078 - 178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

	TEL	FAX	所在地
東日本相談室	TEL 043 - 351 - 1821	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6792 - 1582	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後６時　　＊日曜・祝日：午前 10 時～午後５時　（年末年始を除く）

- FAX 送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（06.06）

※転居されたり贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス
《修理引き取りサービス》のご案内

■ 15 型以下のテレビが対象となります。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品を、電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無　　料
保証期間外	往復配送料 1,050 円（税抜価格 1,000 円）＋梱包材料費＋代引き手数料

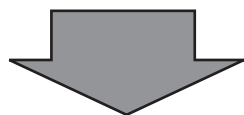
※梱包材料費は、商品の大きさにより異なります。

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料となる場合があります。（保証書記載の無料修理規定対象外の場合は、有料となります。）詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

0570 - 02 - 4649

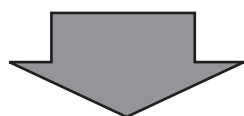
■受付時間　月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時
日曜／祝日：午前 10 時～午後 5 時
年末・年始・当社指定の休日および天災などやむをえない状況の際は臨時に休ませていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

■ナビダイヤルは全国一律料金でご利用いただけます。
・携帯電話・PHS からはナビダイヤルを一部ご利用いただけません。下記の一般電話におかけください。

■ファクシミリを送信される方は、下記 FAX 受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
専用 FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引取りに伺います。
・お引き取り時間は下記時間帯よりお選び頂くことができます。
AM ／ 12 時～ 14 時／ 14 時～ 16 時／ 16 時～ 18 時／ 18 時～ 21 時
・お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
・18 時～ 21 時の時間帯は土、日、祝日は除きます。
・交通事情などにの理由により、ご指定の時間にお伺いできない場合がございます。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。
・ご連絡時にサービス料金（修理代金＋利用料）と発送日をご連絡いたします。
・ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
・サービス料金（修理代金＋利用料）をヤマト運輸に現金でお支払いください。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

おもな仕様

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-13SX7	LC-15SX7
年間消費電力量		・区分名:BA ・年間消費電力量:52kWh/年[標準時※1]	・区分名:BF ・年間消費電力量:53kWh/年[標準時※1]
液晶パネル	受信機型サイズ(画面サイズ)	13V型 (縦198.7mm×横265.0mm/対角331.2mm)	15V型 (縦229.0mm×横305.3mm/対角381.6mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	640(水平)×480(垂直)画素	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型(C15型)、地上デジタル75Ω不平衡型	
スピーカー		3cm×7.5cm 2個	
音声実用最大出力(JEITA)		総合 4.2W(2.1W×2)	
定格電圧		AC100V、DC12V(付属ACアダプター使用時)	
定格周波数		50/60Hz	
消費電力		39W	40W
	リモコン待機時※2	0.12W(デジタル放送録画予約「OFF」)	
	本体電源オフ時	0.1W	
接続端子		ビデオ入力2系統2端子(入力2はモニター出力/デジタル放送録画出力兼用)、S2映像入力1系統1端子、D3映像入力1系統1端子、アンテナ(VHF・UHF)入力・出力端子、ヘッドホン接続端子、DC入力端子、デジタル放送音声出力(光)1 系統1 端子、電話回線端子、ビデオコントロール端子、アンテナ入力(BS・110度CS)端子、アンテナ入力(地上デジタル)端子	
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch・UHF13～62ch、CATV C13～C63ch、BSデジタル000～999ch、110度CSデジタル000～999ch、地上デジタル000～999ch (CATVパススルー対応)	
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅323×奥行88×高さ307(mm)	幅363×奥行88×高さ338(mm)
	スタンド装着時	幅323×奥行181×高さ344(mm)	幅363×奥行224×高さ376(mm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約4.0kg	約4.6kg
	スタンド装着時	約4.4kg	約5.3kg
使用温度		0℃～40℃	

■ 年間消費電力量とは:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

■ 年間消費電力量の区分名とは:省エネ法では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。

※1 一般的にご家庭で使用される際の当社推奨の映像モードです。
(本機では、映像ポジション「標準」の場合です。)

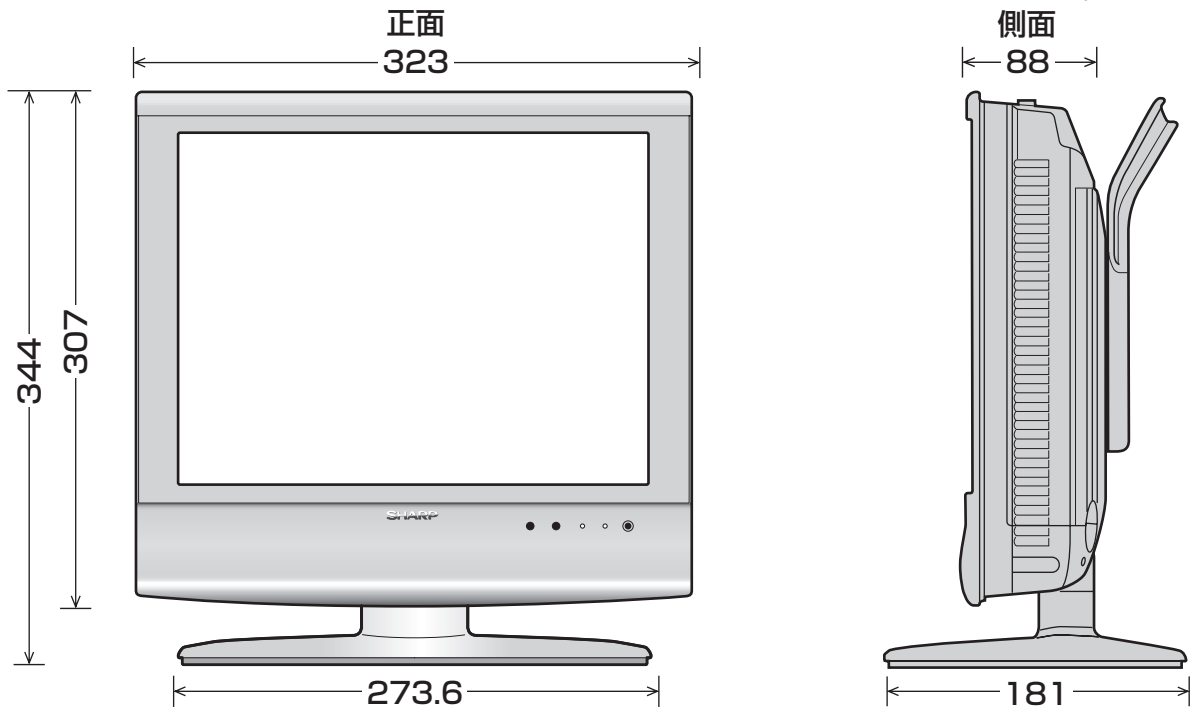
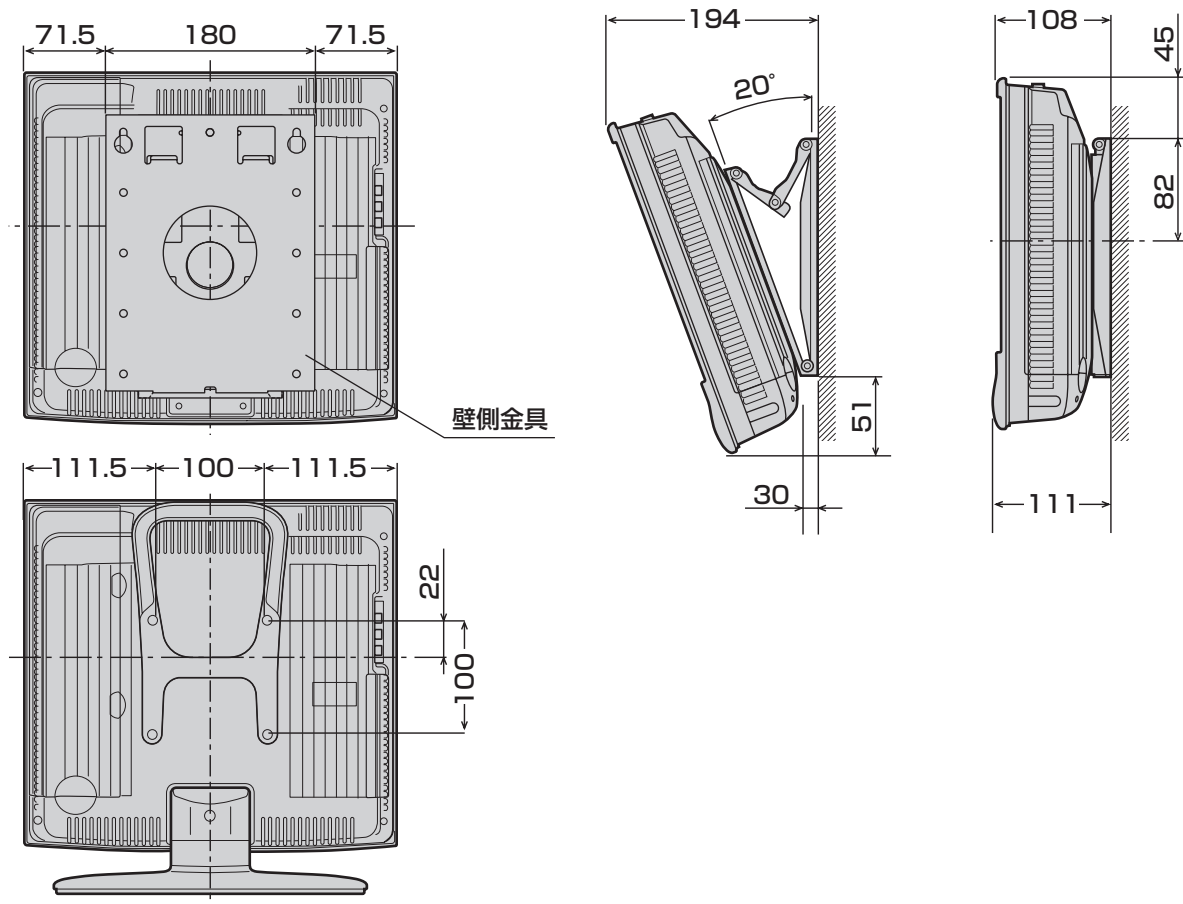
※2 電源オフの操作をしたあと、デジタルチューナーがチャンネルサーチなどの動作を行うため、表記の電力になるまでは時間がかかります。

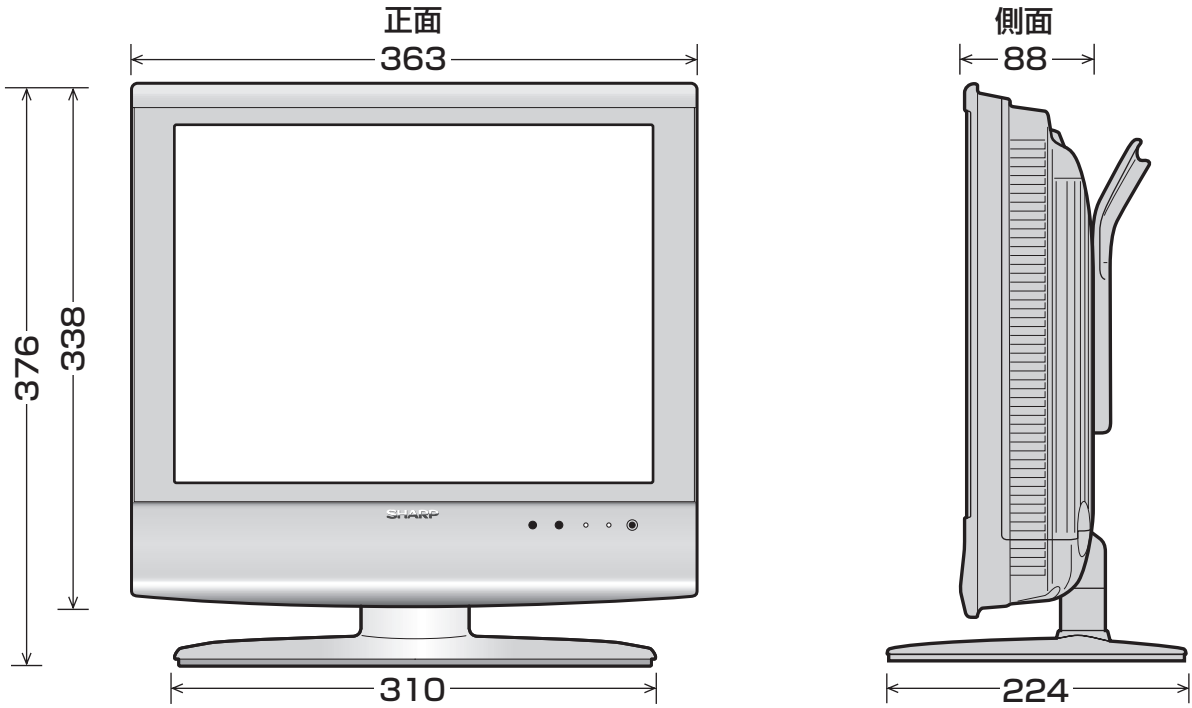
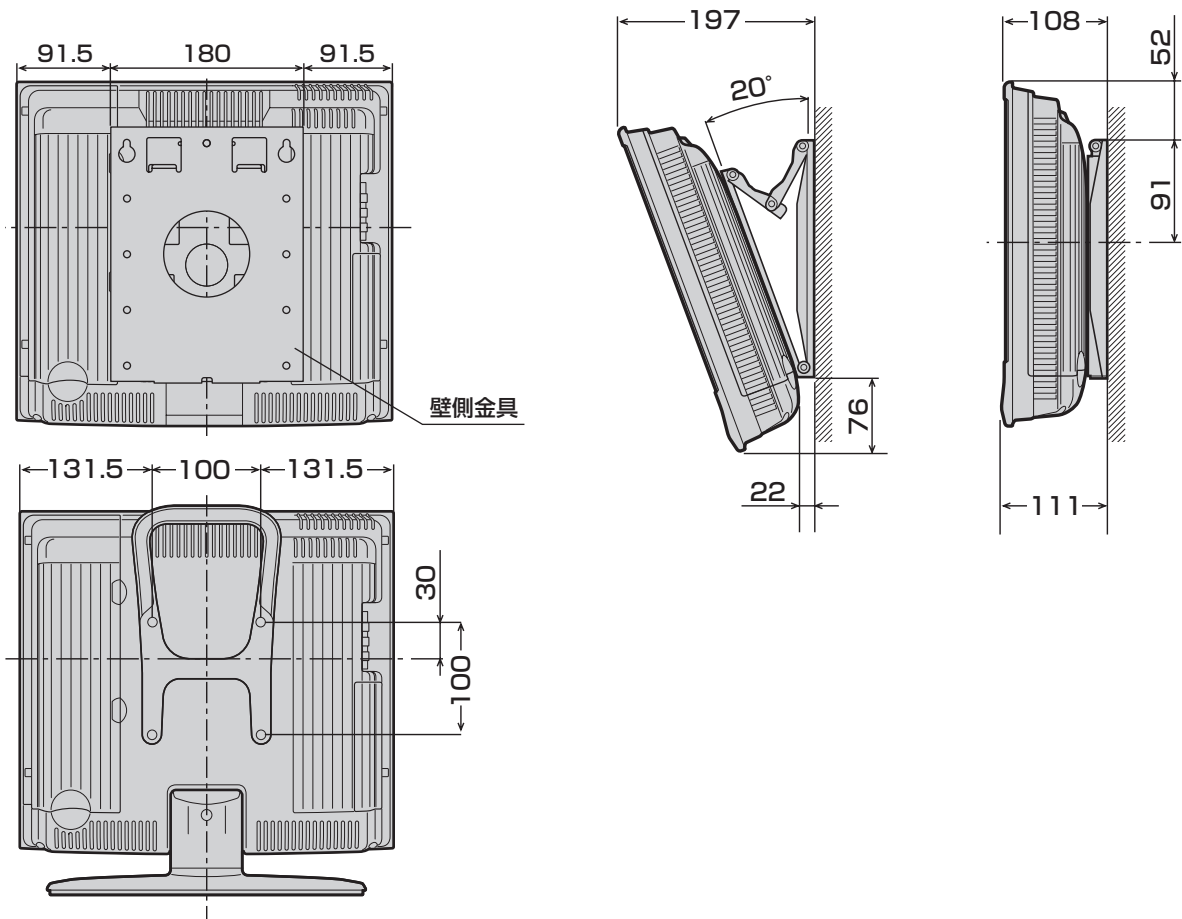
■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

寸法図

LC-13SX7

（単位: mm）

壁掛け金具 AN-120AG1（別売）取付図

LC-15SX7

(単位: mm)

壁掛け金具 AN-120AG1(別売)取付図

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

別売品について

■ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

- 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

No	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-120AG1
2	フロアースタンド	AN-110FS1
3	天吊りブラケット	AN-120TB1／110TBL／110TBS

用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるにもかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（2004年4月からはB-CASカードを挿入していないとデジタル放送が映らなくなっています。）

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD3に対応）、数字が大きいほど、より鮮明な高画質映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM(Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV(Pay Per View)
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS/110度CS/地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ プロバイダ
一般にはインターネットサービスプロバイダ(ISP)のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った双方向サービスが楽しめます。

索引

●な行

●は行

●ま行

●や行

●ら行

Part Names – Main Unit

Front view

Top view

Part Names – Main Unit

Rear view

Part Names — Remote Control Unit

Cover closed

Display
Press to display or turn off the channel call, clock, etc.

Active/Standby
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

Image on/off
Turn off the image to enjoy the sound only.

Digital terrestrial select
Press to select the digital terrestrial broadcast.
* Use this button after the TV set is tuned to receive digital terrestrial broadcasts.

Analog broadcast select
Press to select the analog broadcast.

d (linked data broadcast)
(Japanese)
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

Volume up (+)/down (−)
Press to adjust volume.

Mute
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

EPG
(Japanese)

Program info
(Japanese)

Cursor (up, down, left, right)
Use to select a menu item, column, etc.

Enter/Confirm
Press to confirm a selected setting or menu item.

Finish
Press to turn off the EPG display, or finish menu operation etc.
Note This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Color (blue, red, green, yellow)
Use to operate EPGs and data program screens.

Sleep timer
Press to select the desired remaining time period after which the TV set is automatically turned off and enters the standby mode.

Screen mode
Press to select the desired screen size.

Optical picture control
The brightness of backlight is switched.

Wake-up timer
Press to set the WAKE-UP TIMER to automatically turn on the TV.

Channel select
- Press to select a channel after selecting the desired broadcast (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS) and media (TV, radio, or data).
- Use to input a number for various settings.

BS select
Press to select the BS digital broadcast.

CS select
Press to select the CS digital broadcast.

Media select
Press to select the desired media (TV, radio, or data).

Channel up (∧)/down (∨)
Press to select channels in the current broadcast media and CATV channels in ascending or descending order.
* CATV channels are factory set to be skipped.

External input select
Press to select the desired input.

Other on-air programs (Japanese)
Press to display or turn off the EPG for other digital broadcast programs.

Menu (Japanese)
Press to display or turn off the menu screen.

Return
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you input selection is wrong item or input the wrong number, etc.

Part Names — Remote Control Unit

Cover open

Digital channel register
Press to display or turn off the channel register/registered channel table screen.

Favorite channel select/register
Press to select a user-registered channel and to turn on/off the favorite channel register/registered channel table screen.

CATV
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

Picture select
Press to select main/sub digital broadcasting picture.

Picture mode select
Press to select the desired picture setting.

Caption
Press to display or turn off captions when watching a digital program with captions.

Audio select
Press to select the desired audio mode.

Digital channel number input
When selecting a digital channel by entering the 3-digit channel number, press this button first, then enter the channel number with the channel select buttons (1-10/0).

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift it upwards.

Basic operation for channel selection

Selecting terrestrial analog (VHF/UHF) channels

① **Press 地上A to select terrestrial analog broadcast.**

② **Press 1 - 12 to select the desired channel.**

Selecting digital channels

① **Press 地上D, BS or CS to select the desired digital broadcast network.**

② **Press 1 - 12 to select the desired channel.**

Types of broadcast

- 地上A **Terrestrial analog: Conventional VHF/UHF broadcast**
- 地上D **Terrestrial digital: Terrestrial digital broadcast**
- BS **BS: BS digital broadcast**
- CS **CS: CS 110 digital broadcast**

Selecting favorite channels

① Press お好み選局/登録 to display the registered channel screen.

② Press 1 - 12 to select the desired channel.

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-13SX7　LC-15SX7

この製品は、こんなところがエコロジークラス。	上手に使って、もっともっとエコロジークラス。
省エネ「明るさセンサー」を活用 周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。	◎外出やおやすみのときは電源ボタンを切って リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源ボタンを切ることにより、更に効果的な省エネになります。 ※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は		
0120 - 078 - 178	東日本相談室	TEL 043 - 351 - 1821	FAX 043 - 299 - 8280
	西日本相談室	TEL 06 - 6792 - 1582	FAX 06 - 6792 - 5993

≪受付時間≫　月曜～土曜：午前9時～午後6時　　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…　170ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ　http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-C601WJZZ ⚠1
06P07-JA-KM